

陸上七七ノ内

戦争ノ國內産業特ニ勞務力ニ及ホス影響

其一 佛、英之部

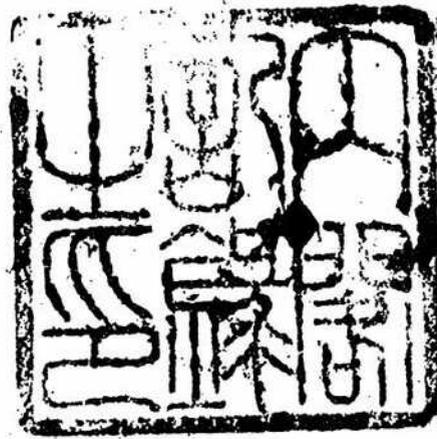
臨時軍事調査委員

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 九 |   |   | 才 |
| 函 | 架 | 冊 | 類 |

|        |        |
|--------|--------|
| 国立公文書館 |        |
| 分類     |        |
| 排架番号   | 2 A    |
|        | 34-6   |
|        | ① 2145 |

大正八年十月二十五日陸軍省印刷

2146



戦争ノ國內産業特ニ勞務力ニ及ホス影響

其一 佛、英之部

目次

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第一 要旨           | 一頁 |
| 第二 佛國之部         | 一  |
| 其一 民間工場ノ開戦影響    | 一  |
| 其二 各種職業勞務者ノ開戦影響 | 五  |
| 其三 避難民及外人勞務者    | 七  |
| 其四 大學生          | 八  |
| 其五 戦時農業         | 九  |
| 其六 鐵道ノ開戦影響      | 一一 |
| 其七 港灣勞務者        | 一九 |
| 其八 女子勞務者        | 二〇 |
| 其九 結言           | 二三 |

目次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 第三 英國之部               | 二二 |
| 其一 平戰時勞務資源移動分布一般狀態    | 二二 |
| 其二 開戰前ニ於ケル勞務資源分布一般狀態  | 二三 |
| 其三 有職業者年齡別            | 二四 |
| 其四 戰爭ノ男子勞務者ニ及ホシタル影響概況 | 二五 |
| 其五 民間工業ト開戰影響          | 二八 |
| 其六 開戰前ニ對スル休戰前ノ男子勞務者   | 三一 |
| 其七 戰時ニ於ケル女子勞務者        | 三六 |
| 其八 老年及幼年勞務者           | 四一 |
| 其九 鑛業勞務者ト產額トノ關係       | 四一 |
| 其十 農業勞務者ト產額トノ關係       | 四三 |
| 其十一 漁獲                | 四七 |
| 其十二 戰時勞務者ノ出所          | 四八 |
| 其十三 戰時工業              | 五二 |
| 其十四 結言                | 五四 |

附表

戰爭ノ國內産業特ニ勞務力ニ及ホス影響

其一 佛、英之部

第一 要旨

主トシテ軍需工業動員ニ係ル國內勞務力ノ運用計畫ニ資スル目的ヲ以テ戰爭ノ國內産業特ニ勞務力ニ及ホス影響ノ一端ヲ這次歐洲戰爭中ニ於ケル佛、英、獨國等ニ就キ研究紹介スル所アラムトス

第二 佛國之部

其一 民間工場ト開戰影響

佛國勞働監察局ノ調査ニ係ル材料ヲ基礎トシ被占領地帯外及作戰行動地域外ニ存在セル佛國重要工場四萬七千ニ付這次戰爭開始直後即チ千九百十四年八月及千九百十五年一月並七月ニ於ケル運轉工場數ノ變遷ヲ示セハ附表第一ノ如ク開戰ト共ニ一般工場ノ約半部ハ休業ヲ餘儀ナクセラレ内比較的多クノ打撃ヲ蒙リ休業工場率ノ多キハ緻密金屬及寶石業ノ九割二、窯業ノ六割八、木林業ノ六割七、冶金及一般金屬工業並土木建築業ノ各五割九(右ノ外佛國ノ主要鐵工産地及鐵冶金工業地ハ被占領地帯内ニ在リ爲ニ佛國ハ開戰ト共ニ開戰前所有セル製鐵力ノ約七割ヲ喪失セリ)、護膜及製紙業ノ五割五等トス而シテ開戰後時日ノ經過特ニ軍需工業ノ要求漸次高上シ軍需品製造ノ爲民間工場ノ利用増大スルニ伴ヒ一般ニ休業工場

其一 佛、英之部 第一 要旨 第二 佛國之部

運轉工場  
數ノ變遷

工場労働者  
数ノ變

工場労働者  
中ノ應  
召者及失  
業者

數ヲ減少スルニ至リシト雖開戦二年後即チ千九百十六年七月ニ於テ全般ヲ通シ尙一割二ノ休業工場ヲ有

シ内休業工場率ノ多キハ緻密金屬及寶石業ノ四割九、窯業ノ三割、土木建築業ノ二割八、木材業ノ二割五

等トス次ニ前記工場ノ作業状態ヲ更ニ工場労働者數ヨリ觀察スレハ附表第二(甲)ノ如ク全般ヲ通シ工場勞

務者數ハ開戦ト共ニ開戦前ノ約三分ノ二ヲ減少シテ約三分ノ一トナリ工場労働者ノ減少率運轉工場減少

率ヨリ遙ニ大ニ内比較的減少率ノ多キハ緻密金屬及寶石業ノ八割五、窯業ノ八割二、木材業ノ八割、土木

建築業ノ七割八、紡績業ハ七割一、冶金及一般金屬工業ノ六割八等トシ前記運轉工場減少率ニ概テ比例セ

ルヲ見ル而シテ開戦後時日ノ經過ニ伴フ運轉工場數特ニ附表第二(乙)ニ明ナル如ク兵器製造労働者ノ需要

増加ト共ニ工場労働者數モ亦増加スルニ至レリト雖運轉工場數ノ場合ト同シク全般ヲ通シ千九百十六年

七月ニ於ケル工場労働者數ハ開戦前ニ比シ依然尙一割三減ヲ示シ其ノ内軍需工業トシテ最重要ナル冶金

及一般金屬工場ノ労働者數千九百十六年七月ニ於テハ開戦前ノ夫レヲ超過シ其ノ他化學工業、運送業、皮

革工業、食糧品製造等軍需工業トシテ用途ノ大ナルモノ程開戦直後ノ打撃ヨリスル恢復力大ニ窯業、土

木建築業、緻密金屬及寶石業、出版印刷業等直接軍需工業ニ關係抄キモノ程恢復力僅少ナル事實ヲ發見

スルヲ得ヘシ

前記工場労働者ノ變遷ヲ更ニ應召者以外ニ失職セル者及新ニ就職セル者(此ノ内ニハ復職者ヲ含ム)トニ

分チ開戦前ノ總労働者ニ對スル百分率ヲ示セハ附表第三ノ如ク應召者率ハ工場ノ種類ニ依ル男女別其ノ

年齢別比等ニ依リ差異アルヘキモ全般ニ就キ謂ヘハ工場労働者ノ應召率ハ二割四、應召者以外ノ工場勞

務者減少率(失業者ト新ニ就職セル者ノ差引)ハ千九百十四年八月ニ於テ四割二ニシテ各種工場共應召

者以外ノ減少率少キハ一割九ヨリ多キハ六割二ニ達セリ次テ工場ノ復活ニ伴ヒ就業者ヲ増加シ應召者以

外ノ工場労働者減少率ハ漸次減少シ食糧品製造業、化學工業、皮革工業、冶金及一般金屬工業並運送業

ニ於ケル就業者數ハ千九百十五年一月以降頃ヨリ逐次失業數ヲ超過スルニ至レリ

開戦前ニ對スル千九百十六年七月ニ於ケル前記運轉工場及工場労働者百分率ノ比較ヲ便ナラシムル爲一

表ヲ作製スレハ附表第四ノ如ク運轉工場百分率ト工場労働者百分率ハ全體トシテハ克ク概テ一致シアル

モ各工場種類別ニ觀察スルトキハ兩者ノ間ニ著シキ差異アルモノ多キ事實ヲ發見スルヲ得ヘク特ニ注意

スヘキコトハ多クハ運轉工場百分率工場労働者百分率ニ比シ大ナルニ拘ラス軍需工業トシテ最重要ナル

位置ヲ占ムル化學工業、冶金及一般金屬工業ニ於テ反對ノ現象ヲ呈スルコト是ナリ此ノ原因ニ關シテハ

勿論推測ニ止マルモ化學工業及冶金並一般金屬工業ノ如キ軍需品工業トシテ最繁忙ヲ極メ軍需品製造ニ

従事スル工場ハ平時ノ労働者以上多數ノ労働者ヲ要スルニ係ラス此等工場中ニハ設備等ノ關係上軍需品

製造ニ従事スルヲ得サルモノアリ而シテ此ノ終リノ工場ニ要スル材料、原料等ハ國軍ノ需要大ナル關係

上其ノ要求ニ對シ一小部分ノ配當ヲ受クルニ過キス爲ニ休業スルノ已ムナキモノ多キニ基因スヘシ之ニ

關シ本年二月聯合國ノ一委員トシテ「ライン」左岸地方ニ於ケル獨逸化學工場ヲ視察セル一米國武官ノ報

運轉工場  
労働者數  
トノ總數  
比較

告中ノ一、二節ヲ拔萃シ戰時軍需品製造ニ從事セシ工場ト然ラサルモノトハ如何ナル状態ニ在リシヤヲ紹介シ前記推測ノ必スシモ誤レルモノニアラサルコトヲ立證セハ次ノ如シ

- (一) 獨逸ノ大化學工場ハ全ク健全ナル状態ニ在リテ多數ノ熟練セル職工ヲ有スルコト何等戰時ト異ル所ナク却テ軍用品製造ヲ兼營セシカ爲ニ工場ノ規模及生産力ヲ増大シアリ
- (二) 予ハ「ライン」河ヲ溯リ「ビーブリッヒ」町ニ於ケル「カーレー」工場ヲ視察セルニ何等軍用品製造ニ與ラザリシモノノ如ク工場ハ朽廢シ又最不振頓ナルヲ見受ケタリ

佛國民間工場ノ開戦影響ニ關スル以上研究結果ヲ綜合セハ民間工場ノ蒙ル開戦影響ハ概ネ左記ノ如キモノナリト結言スルヲ得ヘシ但シ佛國ハ開戦ト共ニ一舉約四百六十六萬ノ陸軍ヲ動員シ約二十日間ニ動員集中ヲ完結セルコト並軍需品補給所要數量ハ戰爭ノ經過ト共ニ開戦當初ニ比シ著シク増大セルコトハ注意シ置クヲ要ス

教訓

左記

- (一) 諸種ノ關係上民間工場ニ於ケル平時産業ハ開戦ト共ニ一大打撃ヲ蒙ルモノニシテ多數ノ休場工場及失業者ヲ生スルニ至ルモノトス
- (二) 前號ノ休場工場及失業者ノ多クハ民間工場ヲ軍需品工場ニ利用セラルルコトニ依リ始テ復活スルニ至ルモノニシテ復活程度ハ軍需品工業トシテ其ノ價值大ナルモノ程大ナリ

- (三) 附表第三ニ明ナル如ク應召者率ト應召者以外ノ失業者率トハ殆ト無關係ニシテ且失業者率ノ應召者率ニ比シ著シク大ナルコトヨリシテ第一號ノ主要原因ハ工場ニ必要ナル技術者ノ應召以外ニ存スルコト
- (四) 開戦滿二箇年後ニ於テモ尙全工場勞務者數ハ開戦前ノモノヨリ小ナルコト

其二 各種職業勞務者ト開戦影響

工場勞務者數ト開戦影響ニ關シテハ大要其一ニ於テ研究セルヲ以テ以下一般各種職業勞務者ノ開戦影響ノ一端ヲ巴里市ニ於テ救済ヲ受ケタル失業者ニ就キ窺フ所アラムトス

巴里市失業者數

巴里市ニ於テ救済セル失業者中巴里市失業救済基金ニ依ルモノ及國民失業救済基金ニ依ルモノトヲ示セハ附表第五甲及乙ノ如ク開戦後約半年ヲ經過シタル時期ニ於テ前者ニ依ル救済失業者數ハ約二十二萬六千人、後者ニ依ル救済失業者數男子約九萬人、女子約十三萬人計約二十二萬人、合計約四十五萬人ヲ算スルヨリセハ全佛國ニ於テ特ニ開戦直後ニ於テハ蓋シ多大ナルモノアリシハ明瞭ナリ又其一ニ研究セシ民間工場休業數及失業者數カ開戦後時日ノ經過ト共ニ減少セシカ如ク一般失業者數モ亦時日ノ經過ト共ニ減少セルヲ知ルヲ得ヘク次ニ國民失業救済基金ニ依ル救済失業者中比較的多數ノ女子ヲ見ルハ注意スヘキ現象ト謂ハザルヘカラス

巴里市失業者職業別

又巴里市失業者ニ就キ 自千九百十五年二月十五日及 自千九百十六年十二月十七日 間ノ調査ニ係ル男女職業別ヲ示セ

其一 佛、英之部 第二 佛國之部

ハ附表第六ノ如ク商業、銀行業、官公吏、自由業及奴婢ノ失業者數ト工業ノ失業者數トハ男女共ニ相匹敵ス然ルニ佛國開戦前ニ於ケル十歳以上ノ全有職業者計約二千百萬人中商業及銀行業約二百五萬三千人(生産年齢者ノ約〇割八六)、官公吏約一百二十九萬二千人(生産年齢者ノ約〇割五四)、自由業約五萬五千人(生産年齢者ノ約〇割二三)、奴婢約一百九十二萬九千人(生産年齢者ノ〇割三九)、以上計約四百八十二萬四千人(生産年齢者ノ約二割)ニシテ之ニ對スル工業勞務者ハ五百七十四萬六千人(生産年齢者ノ約二割四)ナルヲ以テ結局商業、銀行業、官公吏、自由業及奴婢ノ全人員ニ對スル失業率ハ工業ノ全人員ニ對スル失業率割合ニ比シ大ナルヲ知ルヲ得ヘク次ニ

自千九百十五年二月十五日  
至同年三月三十日 巴里市失業救濟者中  
商業及銀行業者並官公吏約一萬一千七十九人、自由業七千九十五人、奴婢二萬六千四百八十八人計四萬四千二百七十九人ニシテ奴婢最多ク商業及銀行業並官公吏之ニ次ク更ニ之ヲ全佛國開戦前ニ於ケル十歳以上ノ有職業者商業及銀行業並官公吏約三百三十四萬五千人、自由職業約五萬五千人、奴婢約一百九十二萬九千人ニ對スル千分率トセハ商業及銀行業並官公吏三・三、自由業二・九〇、奴婢一四・〇トナル但シ此ノ千分率ヲ以テスル比較ハ絶對的ノモノニアラスト雖亦以テ其ノ一般ヲ窺知スルヲ得ヘシ

左記

(一) 都會地ニ於テ開戦影響ヨリ生スル失業率數ハ多大ナルモノトス

(二) 開戦影響ヲ蒙リ生スル失業率數ハ工業界ニ於ケルヨリハ其ノ他ノ職業ニ於ケルモノ比較的大ナリ

(三) 工業界以外ニ於ケル失業率數ハ大ナルハ奴婢ニシテ之ニ次ク商業及銀行業次ニ自由業トス

附記 右文ニ於テ商業及銀行並官公吏ト謂ハスシテ單ニ商業及銀行トシタルハ統計上ニハ官公吏ヲ含ムモ實際官公吏ニシテ開戦影響ヲ受ケ失業率タルヘキ公算ノ極メテ僅少ナルヘキハ常識上判斷シ得ルノミナラス亦後文説述スル他ノ統計上ヨリモ之ヲ推定シ得ルヲ以テナリ

其三 避難民及外人勞務者

佛國ノ戰時勞務力問題ヲ研究スルニ方リ考慮ヲ要スルハ被占領地帯及作戰地域内ヨリスル避難民及外人勞務者トス佛國政府ノ調査ニ係ル所ニ依リ避難民ノ救濟ヲ要スル者、自活シ得ル者ヲ國籍及年齢ニ依リ區分スレハ附表第七ノ如ク避難民數ハ戰爭ノ經過ト共ニ漸次増大シ開戦後半箇月後ノ二萬五千ヨリ一箇月後ニハ十一萬五千人トナリ千九百十五年末ニハ約一百万人餘ニ達シ其ノ約半數即チ五十萬人ハ生産年齢者タルハ佛國戰時勞務力ニ對シ有力ナル資源タリシナラム然ルニ一方開戦前佛國ニハ多數ノ外人勞務者ヲ有シ炭坑ニ就キ謂ヘハ總勞務者約二十萬人中外人約一萬五千人、全鑛業ニ就キ謂ヘハ總勞務者約三十萬五千人中外人約五萬九千人ニ達スルカ如キ是ナリ更ニ千九百十一年調各種職業ニ對スル外人勞務者約百十三萬二千人ヲ國籍別トセハ伊人三十七萬七千人、白人三十一萬人、獨人八萬八千人、西人八萬一千人、瑞西人六萬九千人、英人三萬六千人、露人二萬六千人、米人一萬七千人、其ノ他九萬二千人トス而シ

テ是等外人中敵國人ハ勿論英、伊國人ノ如キ其ノ大部ハ一時若ハ漸次ニ其ノ本國ニ引上ケタルモノト認  
定スヘキ理由アルヲ以テ結局佛國ハ開戦ニ伴ヒ約五十萬人ノ有力ナル外人勞務者ヲ失ヒタル筈ナリ即チ  
佛國ハ避難民ニ依リ國內勞務力ヲ増加シ得タル所ハ外人勞務者ノ歸國ニ依リ喪失セルモノト看做スヲ得  
ヘシ

其四 大學生

戦後ノ經營ヲ顧慮スルトキハ各種高等專門教育ノ如キモ成ルヘク之ヲ持續スルハ蓋シ理想ナリ然レトモ  
戦時ニ於ケル要求ニ對シテハ何事モ某程度迄ハ犠牲ニ供セサルヘカラス佛國ニ於ケル十五大學（内文、  
科、法、醫ノ四分科ヲ有スルモノ七校、文、科、法ノ三分科ヲ有スルモノ六校、文、科ノ二分科ヲ有スルモノ  
二校）中八大學ニ於ケル千九百十五—十六年ノ學生數ト開戦前ノモノトヲ比較セハ附表第八ノ如ク學校  
ニ依リ差異アルモ開戦第二年ニ入りテ學生數ハ戦前ニ比シ最大八割三ヨリ最少五割五、平均七割二ヲ減  
少シ各學校共開校維持困難ニ陥リ窮策トシテ外國人ノ入學ヲ勸誘シ入學資格ヲ低下スル等有ラユル手段  
ヲ講シツツアリシモ好果ヲ得ル能ハサリシカ如シ要スルニ其ノ後ニ於ケル狀況竝此等學校ヲ離レタル學  
生ノ全部カ戰場ニ立チシヤ或ハ其ノ一部カ國內戦時産業ニ從事セシヤ或ハ又教授等ノ學生數減少ニ伴ヒ  
生セル餘力ヲ那邊ニ如何ニ使用セシヤ等未タ明瞭ナラサル點多シト雖戦時軍需工業ニ要スル智的勞働者  
トシテ大學生及教授等カ看過スヘカラサル重要因子タルヘキ可能性ヲ有スルコトハ爭フヘカラサルコト

トス

其五 戦時農業

佛國戦時農業ノ詳細ニ關シテハ別ニ稿ヲ改メテ記述スルコトトシ茲ニハ主トシテ農業勞務力ハ戦時兵員  
トシテ徵用スル以外尙他ニ充用スヘキ餘力アリヤ否ヤニ就キ標準ヲ得ルヲ目途トシ其ノ一般ヲ紹介スル  
所アラトス

農産額

佛國主要農産物戦時收穫状態ヲ示セハ附表第九ノ如ク品種ニ依リ多少ノ差異アルモ小麦、裸麥、大麥、  
燕麥及馬鈴薯ノ合計竝葡萄酒ニ就キ謂フトキハ千九百十五年ニ於テ農産額前者ハ開戦前ノ約七割、後者  
ハ約三割四ニ急減シタルモ爾後ハ克ク千九百十五年ノ年收ヲ保持シ得タルノミナラス葡萄酒ノ如キ千九  
百十七年ニ入りテ却テ大ナル増收ヲ示セリ而シテ此等農産減少率ヲ附表第三ノ一般工場勞務者應召率平  
均二割四ニシテ此ノ以外多大ノ失業者ヲ生シタルコト竝戰爭終期ニ於ケル佛國陸軍召集總兵員ノ生産年  
齡者ニ對スル百分比ノ約三割ナルコト或ハ又附表第十ニ示スカ如ク農耕用勞力トシテ重要ナル地位ヲ  
占ムル國內馬數カ千九百十四年末以降ニ於テ開戦前ニ比シ約三割ヲ減少シアルコトト前記農産額減少率  
トヲ對照シ更ニ又戦時佛國農業勞務力ノ不足ニ對スル左記ノ如キ官民ノ施設努力等ヲ考フルトキハ壯丁  
ヲ召集セラレタル後ノ佛國農業界ハ勞務資源ノ缺乏著シク他ノ前記一般商工業等ノ如ク戰爭影響ヲ蒙リ  
勞務力ニ過剩ヲ生スルニ至ラザリシコト明瞭ナリ但シ前記農業トハ純農業ニシテ副業的産業ヲ含マス

國內馬數

佛國主要農産物戦時收穫状態ヲ示セハ附表第九ノ如ク品種ニ依リ多少ノ差異アルモ小麦、裸麥、大麥、  
燕麥及馬鈴薯ノ合計竝葡萄酒ニ就キ謂フトキハ千九百十五年ニ於テ農産額前者ハ開戦前ノ約七割、後者  
ハ約三割四ニ急減シタルモ爾後ハ克ク千九百十五年ノ年收ヲ保持シ得タルノミナラス葡萄酒ノ如キ千九  
百十七年ニ入りテ却テ大ナル増收ヲ示セリ而シテ此等農産減少率ヲ附表第三ノ一般工場勞務者應召率平  
均二割四ニシテ此ノ以外多大ノ失業者ヲ生シタルコト竝戰爭終期ニ於ケル佛國陸軍召集總兵員ノ生産年  
齡者ニ對スル百分比ノ約三割ナルコト或ハ又附表第十ニ示スカ如ク農耕用勞力トシテ重要ナル地位ヲ  
占ムル國內馬數カ千九百十四年末以降ニ於テ開戦前ニ比シ約三割ヲ減少シアルコトト前記農産額減少率  
トヲ對照シ更ニ又戦時佛國農業勞務力ノ不足ニ對スル左記ノ如キ官民ノ施設努力等ヲ考フルトキハ壯丁  
ヲ召集セラレタル後ノ佛國農業界ハ勞務資源ノ缺乏著シク他ノ前記一般商工業等ノ如ク戰爭影響ヲ蒙リ  
勞務力ニ過剩ヲ生スルニ至ラザリシコト明瞭ナリ但シ前記農業トハ純農業ニシテ副業的産業ヲ含マス

左記

(一) 私的努力

甲 個人的努力

婦人、老年及幼年者ノ活動

乙 團體的努力

集合勞役法

(二) 政府ノ施設

甲 兵士ノ歸農

(千九百十七年ニハ三萬人ノ俘虜ヲ使用セリ)  
(千九百十七年ニハ三萬人ノ俘虜ヲ使用セリ)

乙 俘虜ノ使用

(千九百十六年以來西班牙ヨリ農民十萬七千人ヲ輸入シ收穫期ニハ二十二萬人ニ達セリ)  
(千九百十八年ニハ永続的ニ佛國ニ止マリアリタル者十二萬八千人ニ達セリ)

丙 外人勞務者ノ使用

(千九百十七年ニ入りテハ約四萬人ニ達セリ)

丁 殖民地人ノ使用

(千九百十七年ニ入りテハ約四萬人ニ達セリ)

戊 徵發馬ヲ歸農セシメ自動車ヲ以テ代用ス

(千九百十四年未以降國內馬數漸次増加セリ其ノ詳細ハ附表第十ノ如シ)

己 其ノ他

(耕地整理、農具、耕作法ノ改良等諸種ノ手段ヲ講ス)

之ヲ要スルニ農業ノ如キ性質ノモノニ在リテハ後文英國戰時農業ノ部ニ於テ論スルカ如ク特ニ農作法ニ改良ノ餘地大ナルモノアル場合若ハ農産額ノ減少ヲ容認セサル限リハ戰時ト雖其ノ勞務者ヲ他ニ充當スル餘力極メテ僅少ナルコトハ前記佛國ニ現ハレタル諸種ノ事實ヨリ推論シ得ルノミナス敢テ贅スル必要ナク之ヲ理論ヨリシ常識論ニ訴フルモ極メテ明瞭ナルコトトス又前記諸數値ヨリシテ佛國農産額ハ概

ネ其ノ勞務力ノ減少ニ比例シ減少セルコトヲ知ルヲ得ヘシ

其六 鐵道ト開戰影響

佛國鐵道ノ戰時狀態ニ關シテモ亦農業ト同シク別ニ稿ヲ改メテ詳述スルコトトシ茲ニハ單ニ開戰ト共ニ佛國鐵道カ陸軍ノ動員集中ニ提供セラレタル一般ヲ説明シ以テ一面ニ於テ之カ爲産業上蒙リシ打擊特ニ其ニ詳説セル休場工場及失業者ノ多數ヲ生セシ原因ノ一端ヲ窺ヒ且戰爭中ニ於ケル鐵道業務ノ如何ニ繁忙ニシテ從テ其ノ從業者數モ亦平時ニ比シ多數ヲ要スルモノナルコトヲ紹介スル所アラムトス但シ本論ニ入ルニ先チ開戰前ニ於ケル佛國鐵道ノ概況及開戰時ノ佛國陸軍動員兵力並集中完結日時ヲ參考ニ述フレハ左記ノ如シ

左記

(一) 鐵道延長哩ハ約三萬哩(帝國ハ約五千哩)ニシテ面積一萬方哩ニ付謂ヘハ鐵道延長八千六百哩(帝國ハ約二千哩トス)

(二) 佛國鐵道ハ六大鐵道網ヨリ成ル即チ巴里ヲ中心トシ東方地區ヲ走ルモノヲ東部鐵道、北方地區ヲ走ルモノヲ北部鐵道、西方地區ヲ走ルモノヲ國有鐵道、西南方地區ヲ走ルモノヲ「オルレアン」鐵道、東南方地區ヲ走ルモノヲ「ビー、エル、エム」鐵道又西班牙ノ國境ニ治フ地區ヲ走ルモノヲ南部鐵道ト稱ス從テ東部及北部鐵道ハ直接作戰影響ヲ受ケ又國有鐵道ハ英軍ノ佛國上陸ニ伴ヒ其ノ後方連絡線

トシテ重要ナル地位ヲ占ムルニ至レリ

(三) 開戦當初佛國陸軍ノ動員兵力ハ約四百六十六萬人ニシテ佛國軍ノ主力ハ東部鐵道運行區域ニ集中シ後獨軍ノ白國侵入ニ伴ヒ北部鐵道運行區域カ作戰ノ重點トナルニ至レリ

(四) 動員及集中完了日時ハ約二十日間トス

(五) 運轉材料ノ状態ハ附表第十一ノ如シ

運轉材料  
軍用列車  
運轉下普通  
運轉下普通  
運轉下普通  
運轉下普通

開戦當初ニ於ケル佛國各鐵道ノ軍用列車運轉景況ハ概ネ左記ノ如ク之カ爲千九百十四年八月中ニ於ケル「オルレアン」鐵道ノ普通列車運轉回数ハ前年同月ニ比シ約七割七ヲ減少シ國有鐵道ノ普通旅客貨物輸送ハ前年同月ニ比シ約七割ニヲ減少シ同鐵道ノ全運轉列車數ハ前年同月ニ比シ約三割七ヲ増加セリ之ヲ其一ニ於テ詳述セル佛國民間工場勞務者數カ開戦當初約三割三ニ減少セル事實ト對照スルトキハ自ラ國內産業特ニ製造工業ノ開戦影響カ輸送力減少ヨリ來ルコト大ナルモノアルコトヲ了解スルヲ得ヘク又軍事輸送ニ最繁忙ヲ極メタル北部及東部ノ二鐵道並其ノ他ノ鐵道ニ於ケル軍事輸送以外ノ一般輸送状態ハ未タ之ヲ明ニスルヲ得スト雖前記二鐵道ノモノヨリ其ノ概要ハ推察スルニ難カラサルヘキヲ信ス

附言 工場ニ於ケル勞務者ノ減少ヲ來タセル原因中ニハ鐵道輸送力ノ不足以外一般經濟界ノ動搖、材料、原料ノ不足等他ニモ有力ナル因子存在スルヲ以テ工場ニ於ケル作業状態ノ沈滞ハ此等諸原因ノ

合成ナラサルヘカラス然ルニ工場ニ於ケル作業沈滞ノ状態ヲ示ス工場勞務者ノ減少カ鐵道ニ於ケル普通貨物輸送力ノ減退ニ比シ僅少ナルハ蓋シ工場ニハ多少材料、原料、燃料等ノ貯藏アルト佛國ノ陸地輸送力トシテ鐵道以外河川運河ノ重要位置ヲ占ムルモノアルニ依ルナラム(千九百十二年河川運河ニ依ル輸送貨物約四千八十萬噸ニ上レリ)

左記

(一) 東部鐵道  
八月中ノ軍用列車運轉回数  
七、九〇〇回

最多ク軍用列車ヲ運轉シタル日  
四〇〇回

(二) 「オルレアン」鐵道  
動員當初應召員輸送ノ爲運轉軍用列車數  
一、五〇〇列車

自動員第五日  
至同第十日 集中輸送ノ爲運轉軍用列車數  
二、〇〇〇列車

八月中ノ普通列車ハ前年同月ニ比シ約七割七ヲ減少セリ

(三) 「ビー、ブル、エム」鐵道  
自八月二日應召員輸送ノ爲運轉軍用列車數  
三、〇〇〇列車

至同六日  
爾後百日間戰地軍隊軍需品輸送ノ爲運轉軍用列車數  
四、〇〇〇列車

其一 佛、英之部 第二 佛國之部

一三

- (四) 南部鐵道
- 自八月一日、應召員輸送ノ爲運轉軍用列車數 一、〇〇〇列車
  - 自八月五日、戰地軍隊輸送ノ爲運轉軍用列車數 八〇〇列車
  - 自八月六日、戰地軍隊輸送ノ爲運轉軍用列車數 八〇〇列車
  - 自八月十九日、戰地軍隊輸送ノ爲運轉軍用列車數 二、〇〇〇貨車
- (五) 國有鐵道
- 西部地方ノ軍隊、英國軍及軍需品輸送ノ爲
  - 自八月五日、軍用列車數 二、五〇〇列車
  - 自八月十二日、軍用列車數 一四、七五〇列車

收入狀態

右以後十四日間軍用列車數

八月中ニ於ケル收入狀態ヲ前年度ノモノト比較セハ、次表ノ如ク一般收入ニ係ルモノニ比シ約七割ニ減少シ、軍事當局仕拂ノモノヲ一般收入ニ換算(軍事輸送賃金ハ普通賃金ノ三割トス)シ總收入ヲ前年度ノモノニ比較セハ約三割六ヲ増加セリ

| 年 月      | 總 收 入    | 内                    | 譯        |
|----------|----------|----------------------|----------|
| 千九百十三年八月 | 一、二八、四三三 | 軍事當局仕拂ノモノヲ普通賃金ニ換算總收入 | 一、二八、四三三 |
| 千九百十四年八月 | 七、七五〇    | 軍事當局仕拂ノモノヲ普通賃金ニ換算總收入 | 一、七四、七二七 |

千九百十五年ニ於ケル佛國鐵道ノ一般輸送狀態及軍事輸送ニ屬セサル一般貨物輸送狀態ヲ作戰影響ノ比較の僅少ナリシ方面ノ鐵道ニ就キ概示スレハ左記ノ如ク全輸送行程ハ戰前ニ比シ約二割ヨリ約五割ノ間ニ増加シアルニ拘ラス、一般貨物ノ輸送ハ戰前ニ比シ平均約一割五乃至二割一ノ減少ヲ呈セリ但シ上記一般貨物中ニハ軍需工場用材料、原料、燃料等ヲ含ムモノトス

(一) 「ビー、エル、エム」鐵道

千九百十五年ニ於ケル貨物列車走行哩ハ千九百十三年ニ比シ約五割ヲ増加シ五千萬吉米ニ達セリ而シテ軍事輸送ニ屬セサル一般貨物輸送狀態ハ次表ノ如シ

| 區 分       | 千九百十三年 | 千九百十五年 | 十三年ニ對スル十五年ノ増(減)百分比 |
|-----------|--------|--------|--------------------|
| 速 達 便 貨 物 | 八四七    | 一、〇〇九  | 一九                 |
| 普 通 便 貨 物 | 三、四〇〇  | 二、八〇〇  | (一七)               |
| 家 畜       | 二〇〇    | 二二八    | 一四                 |

(二) 「オルレアン」鐵道

千九百十五年ニ於ケル貨物列車走行哩ハ千九百十三年ニ比シ約三割五ヲ増加シ二千七百萬吉米ニ達

セリ而シテ軍事輸送ニ屬セサル一般貨物輸送状態ハ次表ノ如シ

| 區分           | 千九百十三年 |   | 千九百十五年 |   | 十三年ニ對スル十五年ノ増(減)百分比 |
|--------------|--------|---|--------|---|--------------------|
|              | 千圓     | 噸 | 千圓     | 噸 |                    |
| 速達便貨物        | 五五五    |   | 五二〇    |   | (六)                |
| 普通便貨物        | 一七、二五〇 |   | 一四、六〇八 |   | (一五)               |
| 家畜           | 三、一一一  |   | 二、五〇四  |   | (二〇)               |
| 右ノ内<br>生活必需品 | 四、一八二  |   | 五、一七一  |   | 二五                 |

(三) 南部鐵道

千九百十五年ニ於ケル軍事輸送ニ屬セサル一般貨物輸送状態ハ次表ノ如シ

| 區分    | 千九百十三年 |   | 千九百十五年 |   | 十三年ニ對スル十五年ノ増(減)百分比 |
|-------|--------|---|--------|---|--------------------|
|       | 千圓     | 噸 | 千圓     | 噸 |                    |
| 速達便貨物 | 二五〇    |   | 二三三    |   | (七)                |
| 普通便貨物 | 十三、五四五 |   | 一一、三三八 |   | (一六)               |

(四) 國有鐵道

千九百十三年—千九百十七年ニ至ル毎八月ニ於ケル總收入及軍事當局仕拂ニ係ルモノ並一般收入ニ

係ルモノトノ状態ヲ示セハ次表ノ如シ

| 區分                            | 千九百十三年八月 |   | 千九百十四年八月 |   | 千九百十五年八月 |   | 千九百十六年八月 |   | 千九百十七年八月 |   |
|-------------------------------|----------|---|----------|---|----------|---|----------|---|----------|---|
|                               | 千圓       | 噸 |
| 總收入(甲)                        | 一、二八、四三三 |   | 七、七、五〇二  |   | 一、二〇、一九六 |   | 一、三三、七五八 |   | 一、四九、八六五 |   |
| 右内譯<br>軍事當局仕拂                 |          |   | 四一、六六八   |   | 一七、八〇四   |   | 二五、一四〇   |   |          |   |
| 一般收入                          | 一、二八、四三三 |   | 三五、八三四   |   | 一〇二、三九二  |   | 一〇八、六一八  |   |          |   |
| 軍事當局仕拂賃金ナリ一般賃金ニ換算シタル場合ノ總收入(乙) | 二二八、四三三  |   | 一七四、七二七  |   | 一六一、七三九  |   | 一九二、四一八  |   |          |   |
| 開ニ<br>戰對<br>前ス                | 一〇〇      |   | 六三       |   | 九四       |   | 一〇四      |   | 一七       |   |
| 總收入(乙)百分比                     | 一〇〇      |   | 一三六      |   | 一二六      |   | 一四九      |   |          |   |
| 一般收入百分比                       | 一〇〇      |   | 二八       |   | 七九       |   | 八五       |   |          |   |

一 戰時鐵道賃金ハ戰前ト同一ナリ  
二 軍事輸送賃金ハ普通賃金ノ三割トス

工場勞務者トノ比較

前記千九百十五年佛國鐵道ニ於ケル一般貨物輸送状態ノ戰前ニ對スル減少率ト其民間工場ノ部ニ論述セル千九百十五年七月ニ於ケル工場勞務者減少率三割トヲ比較セハ此ノ場合ニ於ケル工場勞務者減少率

其一 佛、英之部 其二 佛國之部

貨物鐵道輸送力減少率トノ關係ハ開戰直後ニ於ケル場合ト相反スル現象ヲ呈セルヲ知ル此ノ事實  
 因ハ今述ニ速断スルヲ得スト雖戰時軍需品製造ニ從事スル工場ハ其ノ勞務者數ニ對シ割合ニ多數ノ  
 原料、材料、燃料等ヲ需要セル等ノ關係上輸送力回復力ノ割合ニ工場勞務者數回復増加セサルモノアル  
 ニ因ルナラム  
 之ヲ要スルニ以上ハ左記事實ヲ語ルモノトス

敬 訓

左 記

- (一) 佛國ノ鐵道網ヲ以テ開戰直後約四百六十六萬人ノ國軍ヲ動員集中スルニ約一箇月間ハ軍事輸送以  
 外ノ一般輸送力ヲ開戰前ノ夫レニ比シ最少キモノアリテ尙約七割二分ヲ減少シ同時期ニ於ケル全運  
 轉狀態ハ開戰前ノ夫レニ比シ少クモ三割七ヲ増加セリ  
 又開戰一年後即チ千九百十五年ニ於ケル東部及北部鐵道以外ノ鐵道輸送狀態ハ軍事輸送以外ノ一般  
 輸送力ニ於テ開戰前ノ夫レニ比シ約二割一割五ヲ減少シ同時期ニ於ケル全輸送力ハ開戰前ノ夫レ  
 ニ比シ約二割六ト五割ヲ増加シ結局開戰前輸送力ノ約六割七―四割七ヲ軍事輸送ニ使用セリ
- (二) 開戰ニ伴ヒ民間工場ノ蒙ル打擊程度ハ概ネ軍事輸送以外ノ鐵道輸送力減退程度ニ準應スルモノナ  
 ルモ嚴密ニ謂ヘハ前者ノ蒙ル打擊程度ハ後者ノ減退程度ヨリハ小ナリ
- (三) 民間工場ノ開戰影響ヨリスル回復程度ハ軍事輸送以外一般貨物ノ輸送力回復程度ヨリハ不良ニシ

テ其ノ原因ハ戰時ノ工場勞務者ハ平時ニ比シ比較的多數ノ原料、材料、燃料ヲ需要スル等ニ存スヘシ  
 (四) 戰時鐵道業ハ平時ニ比シ著シク繁忙ヲ極ムルモノニシテ從テ其ノ勞務者ハ平時人員ヲ以テ不足ス  
 ルモノトス

其七 港灣勞務者

港灣勞務者ノ一般ヲ窺知スル爲「ボルドー」港及「マルセイユ」港ノ滯貨狀態ヲ概示セハ左記ノ如ク商工  
 業、僱婢等ノ失業者多數ナル時期ニ於テ荷役人夫ノ如キ力役者ノ著シク不足セルコトハ戰時勞務力問題  
 ヲ研究スルニ方リ注意スヘキ現象トス

左 記

(一) 「ボルドー」港

|        |                 |      |
|--------|-----------------|------|
| 甲 輸入貨物 | 千九百十三年一箇月平均揚陸貨物 | 三十萬噸 |
|        | 千九百十六年同         | 六十萬噸 |
| 乙 輸出貨物 |                 |      |

之ヲ主要品即チ葡萄酒ニ就キ謂フモ開戰前ニ對スル開戰直後ノ輸出減少率ハ四割四ニ達セリ  
 丙 前二號ノ狀況ニ於テ荷役力ノ不足著シク港内滯貨多ク爲ニ千九百十六年末迄ニ約六千人ノ西

其一 佛、英之部 其二 佛國之部

(二)

班人ヲ招致シ千九百十七年ニ入りテハ更ニ俘虜ノ使用ヲ開始セリ

「マルセイユ」港

甲 千九百十六年下半年ニ於ケル滞貨状態ニ關スル一視察者ノ報告ノ一節ヲ掲クレハ次ノ如シ

内地鐵道輸送ノ停滞及港内荷役人夫ノ不足ニ依リ港内百貨堆積シ倉庫及庫外ニモ貨物充滿シ

一箇年以上ニ互リ滞積セラルルモノアリ

一萬噸ノ雜貨ヲ揚陸スルニ約二週間ヲ要ス

乙 輸出入貨物ノ狀況次表ノ如ク貨物輸入額ハ戰前ト大差ナキモ總額ハ戰時中却テ減少ノ状態ニ在リ

| 年次     | 輸入貨物  | 輸出貨物  | 計     |
|--------|-------|-------|-------|
| 千九百十三年 | 五、八八六 | 三、〇五三 | 八、九三九 |
| 千九百十四年 | 五、二〇四 | 二、一六六 | 七、三七〇 |
| 千九百十五年 | 五、八九九 | 一、六三六 | 七、五三五 |

其八 女子勞務者

兵員召集ニ伴フ戰時國內男子勞務者ノ不足ニ對シ女子勞務者ノ極メテ重要ナル取テ費セス佛國ニ於ケル

戰時女子活動状態ノ一端ヲ紹介スレハ次ノ如シ

政府當局ノ發表セル所ニ依リ兵器彈藥製造工業ニ勞務スル女子數ノ變遷ヲ示セハ左記甲表又各種工業ニ就キ戰前ノ女子勞務者數ニ對スル千九百十八年一月ノ女子勞務者數ヲ倍數ヲ以テ示セハ左記乙表ノ如ク更ニ又戰時新ニ戰前男子ノ就業セル位置ヲ代位シタル女子數ノ一部ヲ示セハ戰爭終期、教育ニ於テ一萬二千六百人(失ヒタル男子約三萬人)、鐵道ニ於テ約一萬五千人、官吏ニ於テ同シク約一萬五千人トス以テ戰後ノ經過ニ伴フ女子勞務者増加景況ノ如何ヲ知ルヲ得ム

(甲)

| 年次          | 官有工場   | 私設兵器工場 | 計       |
|-------------|--------|--------|---------|
| 千九百十五年六月三十日 | 一四、一六二 |        |         |
| 千九百十六年一月一日  | 二六、二九三 | 八三、〇〇七 | 一〇九、三〇〇 |
| 同年十月一日      |        |        | 二〇四、〇〇〇 |

(乙)

| 業別  | 戰前ニ對スル千九百十八年一月ノ女子勞務者割合 |
|-----|------------------------|
| 鐵工業 | 三九〇倍                   |

其一 佛、英之部 其二 佛國之部

|        |     |
|--------|-----|
| 化學工業   | 七四  |
| 運輸業    | 三一五 |
| 木材工業   | 一六一 |
| 皮革工業   | 五五  |
| 護謄、紙工業 | 五二  |
| 其他     | 五一  |

其九 結言

佛國ニ於ケル戰時國內勞務力ニ關シテ其ノ資料乏シク以上研究ヲ以テ直ニ將來ニ於ケル帝國ノ戰時國內勞務力運用ニ資スルヲ得スト雖之ヲ更ニ英國及其ノ他ノ部ニ於テ研究スル所ト對照比較スルトキハ概ネ之カ準繩タラシムルヲ得ム

第三 英國之部

其一 平戰時勞務資源移動分布一般狀態

主トシテ英國官憲ノ發表セル諸種統計ヲ基礎トシ這次戰爭開始前即チ千九百十四年七月ニ於ケル英國人口約男子二千二百六十九萬二千人、女子二千三百七十二萬一千人計四千六百四十一萬三千人及休戰前即

チ千九百十八年七月ニ於ケル英國人口(敵國ニ俘虜トナリ抑留中ノ者ヲ除ク)約男子二千二百五十九萬一  
千人、女子二千四百五十三萬八千人計四千七百七十二萬九千人ヲ職業別ニ依リ分類シ更ニ前者ト後者トノ  
比較ヲ試ムレハ附表第十二ノ如シ以下之カ細部ニ就キ研究シ以テ戰時ニ於ケル勞務資源ノ運用計畫ニ資  
スル所アラムトス

其二 開戰前ニ於ケル勞務資源分布一般狀態

職業別 開戰前ニ於ケル勞務資源分布一般狀態ヲ明ニスル爲附表第十二ニ依リ職業別ヲ更ニ(一)陸海軍在隊兵員、  
(二)官公吏、(三)自由業、(四)工業、(五)鑛業、(六)瓦斯水力電氣供給業、(七)運輸交通業、(八)商業(銀行及金融業ヲ  
含ム)、(九)旅館演藝場、(十)農業、(十一)雜業(以上被傭役者)、(十二)自己營業者、(十三)無職業(十歳以下ト十歳以上  
ニ分類シ十歳以上ヲ更ニ六十五歳以上、學校通學者及其ノ他トニ分ツ)トニ分類シ各職業毎ニ男女別ヲ  
求メ更ニ(一)生産年齢者、(二)有職業者、(三)總人口ニ對スル職業別百分比ヲ求ムレハ附表第十三ノ如シ

各種職業  
男女別

各種職業中男子ノ女子ニ比シ多キハ總勞務者ニ對シ鑛業及瓦斯電氣水力供給業ノ男子九割九強、運輸交  
通業ノ九割八(上記中ニハ船員ヲ含マス船員中男子ハ九割九)、農業ノ八割七、商業ノ七割三、自由業ノ  
七割二、官公吏ノ七割一、工業ノ七割ニシテ女子ノ比較的多キハ家事業ノ女子七割九トシ旅館演藝場ノ  
四割八之ニ次キ雜業及自己營業業ノ三割九、工業ノ三割、官公吏ノ二割九、自由業ノ二割八、商業ノ二割  
七等トス又有職業者中男女共最多キハ工業ノ約男子五百六萬九千人、女子二百七十七萬二千人計七百二十

四萬一千人ニシテ之ヲ男女別有職業(生産年齢)者ニ對スル割合ヲ以テセハ男子ハ三割四(三割七)、女子ハ三割六(一割五)、男女計ハ三割五(二割七)ニ相當シ男子中工業ニ次キ多キハ雜業及自己營業者ノ二割九(二割)、商業〇割九(一割)、農業ノ〇割九(〇割九)、鑛業ノ〇割八(〇割九)、運輸交通業(船員ヲ除ク)ノ〇割七(〇割八)等トシ女子中工業ニ次キ多キハ家事業ノ二割八(一割二)、雜業ノ〇割九(〇割四)、商業ノ〇割八(〇割三)、自己營業者ノ〇割七(〇割三)等トス

有職業者  
ト無職業者  
トノ比

有職業者及無職業者男(女)計(男女計)ノ總男(女)子(人口)ニ對スル割合ヲ見ルニ有職業者ハ六割四(二割五)(四割四)、無職業者中十歳以下ノ者ハ二割(二割二)、六十五歳以上ノ者ハ〇割五(〇割六)(〇割五)、學校通學者ハ〇割八(〇割六)(〇割七)、其ノ他ノ無職業者ハ〇割二(四割二)(二割二)、無職業總計三割六(七割五)(五割六)ニ相當シ更ニ十歳以上ノ無職業者ノ生産年齢者ニ對スル割合ハ六十五歳以上ノ者〇割八(一割)(〇割九)、學校通學者一割三(一割二)、其ノ他ノ無職業者〇割三(七割)(三割七)ニ相當セルヲ知ル以上及附表第十二ヲ參照セハ這次戰爭開始前ニ於ケル英國勞務資源分布ニ就キ一般状態ヲ了解スルヲ得ヘク尙英國勞務力分布ノ一端ヲ窺フ爲千九百〇九年末調各種勞働組合員職業別ヲ參考トシテ示セハ附表第十四ノ如シ

勞働組合  
員數

其三 有職業者年齡別

以下英國戰時勞務資源運用ノ状態ヲ研究シ之ヨリ歸納シテ結論ヲ得ルニハ開戰前ニ於ケル有職業者ヲ更

英國各種  
有職業者  
年齡別

ニ年齡別、兵役關係、非關係別等ニ區分シ調査スル必要アリト雖此等ニ關シテハ統計ノ極メテ少キヲ以テ之カ詳細ハ他日ニ讓ルコトトシ茲ニハ千九百〇七年調獨國各種有職業者年齡別ヲ紹介シ以テ一般標準ヲ得ルニ止ムトス

千九百〇七年調獨國各種有職業者ヲ二十歳以下、三十歳以下、五十歳以下、六十歳以下、六十歳以上ニ區分シ更ニ之ヲ男女別トシ且各種職業毎ニ年齡別百分比ヲ求ムレハ附表第十五ノ如ク女子有職業者ハ自然ノ趨勢トシテ自由業ニ於テ二十歳乃至三十歳ノ者最多數ヲ占ムル外ハ一般ニ年少者ニ多ク年長者タルニ從ヒ減少スルノ事實ヲ發見シ得ヘク男子有職業者ハ職業ノ種類ニ依リ趣ヲ異ニシ一職業ニ就キ二十歳以下ノ者多キハ農業ノ二割、二十歳乃至三十歳ノ者多キハ工鑛業及家事業ノ共ニ二割八、三十乃至五十歳ノ者多キハ商業ノ四割六及自由業ノ四割八又全般ニ就キ五十歳以上ノ者比較的多キハ農業ノ二割六及自由業ノ二割一トス

以上ハ獨國ニ於ケルモノニシテ是ヲ以テ直ニ他ニ適用スルヲ得スト雖國內産業組織概ネ獨國ト相類似セル英國ニ對シテハ憶ニ有力ナル參考資料タルヲ得ム

其四 戰爭ノ男子勞務者ニ及ホシタル影響概況

這次戰爭中英國陸軍ノ召集總兵員ハ本國兵約七百萬、殖民地兵約百萬計八百萬人ニシテ休戰前ニ於ケル在隊ノ兵員ハ約六百萬トシ内殖民地兵ヲ八十萬人ト看做セハ本國兵ノ在隊者ハ約五百二十萬人トナル

召集兵員  
ト陸上損  
害

而シテ右本國兵召集總員ト在隊兵員トノ差約百八十萬人中戰病死又ハ敵國ニ俘虜トナリタル者ハ約九十二萬人(殖民地兵ヲ合シ休戰當時迄ノ戰死者約六十六萬人、俘虜及上記外ノ死者約三十六萬人計百二十萬人ニシテ内殖民地兵ヲ約十萬ト見積レリ)トシ不具癘疾其ノ他ノ原因ニ依リ除隊トナリタル者ハ約八十八萬人トス故ニ休戰前英國陸軍ニ召集中ニ屬スルカ或ハ陸軍ニ服務中戰病死又ハ俘虜トナリシ關係上英國男子勞務者ハ約六百十二萬人ヲ減少セラレタルコトナリ此ノ減員ハ開戰前ノ生産年齢男子約一千三百六十一萬五千人ノ約四割五ニ相當ス然レトモ茲ニ注意スヘキハ佛國陸軍ノ開戰當初ヨリ一舉約四百六十六萬人ヲ動員シタルト大ニ趣ヲ異ニシ漸進的ニ召集兵員ヲ増加シタルコトニシテ英國陸軍開戰後ニ於ケル出征兵力逐次増加ノ概況ヲ示セハ次表ノ如シ

英國出征師團逐次増加景況一覽表

| 年      | 月  | 出 征 師 團 數 |
|--------|----|-----------|
| 千九百十四年 | 八月 | 六         |
| 千九百十五年 | 一月 | 三六        |
| 千九百十六年 | 四月 | 四五        |

出征兵力  
逐次増加  
景況

|        |    |    |
|--------|----|----|
| 千九百十六年 | 七月 | 五七 |
| 千九百十六年 | 末  | 六三 |
| 千九百十七年 | 年  | 七〇 |

海上損害 千九百十七年七月迄ニ於ケル英國船員ノ死者約八千人、俘虜約四千人計一萬二千人ニシテ其ノ後ニ於ケル者及英國海軍ニ於ケル者ノ詳細ハ不明ナリト雖這次戰爭中ニ於ケル英國ノ海上損害ハ死者及俘虜ヲ合シ約三萬人(旅客ヲ除ク)ト見ハ大過ナキヲ得ム又獨航空機及海岸砲撃ニ依ル英國内死者ハ約一千六百人(女子ヲ含ム)トス

人口増加 千九百十一年ニ於ケル英國人口増加率ハ一年ニ約〇割一トス然ルニ戰爭影響ヲ蒙リ十歳以下ノ者ハ戰時中ヲ平均シ一年約〇割〇四ノ減少ヲ見ルニ至リシカ如ク十歳以上ノ者ト雖其ノ戰爭中ノ平病死亡率ハ戰前ニ比シ多少増加シアルヘキモ此ノ變化率ハ極メテ微少ナルヘキヲ以テ之ヲ願慮外ニ置クトキハ戰時中英國十五歳(十歳)以上六十五歳以下ノ男子増加數ハ約五十七萬二千人(六十五萬二千人)トナル

以上這次戰爭開始前ト終期ニ於ケル英國國內十(十五)歳以上六十五歳以下ノ男子數ノ變遷ヲ概括一表トセハ次ノ如クナルヘシ

開戦前  
休戦前  
比較  
男子  
千数

英國國內(十五)歳以上六十五歳以下男子數戰爭影響一覽表

| 區分                 | 總人員        |             | 陸海軍在隊兵員     |             | 其他          |       |
|--------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
|                    | 十歳以上       | 十五歳以上       | 十歳以上        | 十五歳以上       | 十歳以上        | 十五歳以上 |
| 千九百十四年七月現在         | 一六八〇,〇〇〇   | 一四六三,〇〇〇    | 三八五,〇〇〇     | 一六四一,八〇〇    | 一四二八,〇〇〇    |       |
| 自然増加               | 六五二,〇〇〇    | 五七二,〇〇〇     |             |             |             |       |
| 戰爭ニ依ル死傷<br>年間ノ増(減) | (一〇五二,〇〇〇) | (一,〇五二,〇〇〇) |             |             |             |       |
| 差引                 | (三九九,〇〇〇)  | (四七九,〇〇〇)   |             |             |             |       |
| 千九百十八年七月現在         | 一,一六〇,〇〇〇  | 一,一七二,〇〇〇   | 五,〇〇〇,〇〇〇   | 一,一〇〇,〇〇〇   | 八,七二二,〇〇〇   |       |
| 千九百十四年七月現在ニ對スル増(減) | (三九九,〇〇〇)  | (四七九,〇〇〇)   | (五,〇一五,〇〇〇) | (五,四一四,〇〇〇) | (五,四九四,〇〇〇) |       |

其五 民間工業ト開戦影響

英國ノ平時産業ヨリ戰時産業ヘノ轉移ハ比較的漸進的ナリシ關係上開戦當初ニ於ケル民間工場ハ佛國ノ如キ慘狀ヲ呈スルコトナク中ニハ却テ反對ノ現象ヲ呈シ勞務者中ヨリ應召者ヲ出タシタル後ニ於テ其ノ

被召集者  
及失業者

補填難ヲ訴フルモノアリシモ亦一方ニハ佛國ト同シク應召者以外失業者ヲ出タシタル工場尠カラズ今重要工業會社二萬四千ノ開戦直前ニ於ケル勞務者男女計約四百萬人ニ對スル被召集者及被召集者以外新ニ失(就)職セル者並差引増(減)人員ノ割合ヲ求ムレハ附表第十六ノ如ク被召集者ハ全工業ヲ通シ千九百十四年十二月ニ於テ約一割二此ノ人員約四十八萬人、千九百十五年一月ニ於テ約一割四六此ノ人員約五十八萬四千人、同年二月ニ於テ約一割五四此ノ人員約六十萬六千人、失(就)職者ハ鐵業、車輛業、煉瓦、「セメント」類業、建築業、家具裝飾具業ニ於テ千九百十四年末及千九百十五年一月共ニ失業者〇割〇九乃至一割一六ヲ、棉工業、裁縫業ニ於テ千九百十四年末失業者〇割一六乃至〇割三七ヲ、陶磁器、硝子業及食糧品業ニ於テ千九百十五年一月失業者〇割〇八乃至〇割八二ヲ出タシ其ノ他ニ於テハ失業者ナク全般ニ就キ謂ヘハ千九百十四年末ニハ約〇割二四此ノ人員九萬六千人、千九百十五年一月ニハ約〇割三九此ノ人員十五萬六千人、同年二月ニハ少シク減シテ〇割三三此ノ人員十三萬二千ノ新就業者ヲ見差引開戦前ニ對スル勞務者ノ増減ハ化學工業以外ハ減ヲ示シ其ノ最大ナルハ煉瓦、「セメント」類業ノ約二割七二之ニ次クハ家具裝飾具業ノ約二割三五、建築業ノ約二割三、車輛業ノ約一割七八等トシ全般ヲ通シ約一割此ノ人員約四十萬人ヲ減少スルニ至レリ以上ヨリ英國全工業被備役男子五百六十九萬四千人ニ對スルモノヲ試算スレハ次表ノ如シ但シ茲ニ注意スヘキハ佛國ニ於ケルモノハ工場四萬七千ニ就キ集計シアルニ對シ英國ノモノハ僅ニ二萬四千ニ就キ集計セルモノニシテ從テ英國ノモノハ佛國ノモノヨリハ程

度著シク良好ナル工場ニ就キ謂ヘルコトトス

開戦直後工業男子勞務者變遷推定一覽表

| 區分       | 千九百十四年    |           | 千九百十五年      |
|----------|-----------|-----------|-------------|
|          | 七月        | 十二月       | 一月          |
| 被召集人員    | —         | —         | 六八四、〇〇〇     |
| 就(失)業人員  | —         | —         | 八三一、〇〇〇     |
| 差引増(減)人員 | —         | —         | (一三七、〇〇〇)   |
| 現在人員     | 五、六九四、〇〇〇 | 四、八七三、〇〇〇 | (一、〇五三、〇〇〇) |
|          |           |           | 四、六四一、〇〇〇   |

以上ニ依リ英國ニ於ケル開戦直後ノ工業ニ現ハレタル數値ハ佛國ノモノト大ニ趣ヲ異ニスト雖尙左記事實ヲ發見スルヲ得ヘシ

教訓

左記

- 一 諸種ノ關係上民間工場ニ於ケル平時産業ハ開戦ト共ニ打撃ヲ蒙リ比較的多數ノ失業者ヲ生スルモノアルモノトス
- 二 平時産業中開戦影響ヲ蒙リ失業者ヲ生スルハ軍需品製造工業ニ關係少キ職業トス

其六 開戦前ニ對スル休戦前ノ男子勞務者

戰爭ノ男子勞務者ニ及ホシタル影響ノ概要ハ其四ニ於テ説述セル所ノ如シ以下各種職業毎ニ開戦後千九百十八年七月迄ニ於ケル英國陸軍ヘノ被召集人員、新就(失)業者(新就業者ニシテ新就業位置ニテ召集セラレタル者ハ當該職業ノ被召集者中ニ包含セシメ爾他ノ就業者ヨリ被召集者以外ノ失業者ヲ減シタル差正ナルトキ之ヲ新就業人員、負ナルトキ之ヲ失業人員トシテ集計セリ)及差引増減人員並是等人員ノ開戦前現在ニ對スル百分比ヲ求ムレハ附表第十七ノ如シ

英國陸軍召集總員約七百萬人ヲ開戦前十(十五)歳以上ノ總男子一千七百五十四萬三千(一千五百三十四萬三千)人ニ對スル割合ヲ求ムレハ約四割(四割五七)ニ相當ス之ヲ各職業別ニ觀察セハ開戦前現在男子數ニ對シ五割以上ノ被召集者ヲ出タシタルハ旅館演劇場(六割四七)、金融銀行及商業(六割三二)、自由業(六割一六)、食料飲料及煙草業(六割一三)、被服製造及製靴業(五割九三)、化學工業(五割三四)、木材工業(五割二七)、製紙及印刷業(五割一八)ニシテ比較的少キハ農業永久勞力ノ三割四ヲ最トシ之ニ次クハ地方廳管下官署(三割四七)、鑛業(三割五三)、金屬工業(四割一六)、郵便電信電話局及中央政府管下官署(四割二六)等トス以上被召集人員中ニハ開戦前ヨリノ勞務者ニシテ召集セラレタル者ノ外開戦後新ニ就業シタル者ニシテ召集セラレタル者ヲ含ムヲ以テ嚴密ニ謂ヘハ是等ヲ區分シテ比較ヲ試ムル必要アルモ之ニ關スル資料乏シキヲ遺憾トス然レトモ一統計値ノ示ス所ニ依リ金屬工業被召集者六十八萬

一千人ノ開戦前勞務者百六十三萬四千人ト開戦後金屬工業ニ新ニ就業シタル實際人員トノ和ニ對スル百分比カ二十七%ナルコトヨリ算定セハ附表第十七ノ新就業者八十二萬九千人ニ對シ實際新就業者ハ八十八萬六千人トナリ其ノ差額タル五萬七千人ハ戰時新ニ金屬工業界ニ入りタル後召集セラレタル者トナル從テ開戦前ヨリノ勞務者中召集者ハ六十二萬四千人開戦前勞務者ノ約三割八二ニ相當シ附表第十七ノ百分比トノ差〇割三四ニ過キス即チ戰時比較的新就業者ノ多數ヲ占ムル部類ニ屬スルハ金屬工業ニシテ是等新就業者召集率開戦前ヨリノ勞務者召集率ニ比シ極メテ小ナル事實ヨリ推論セハ附表第十七ニ示ス被召集者百分比ハ大體ニ於テ開戦前勞務者ニ應スルモノナリト看做シ大過ナカルヘク加之前陳ノ如ク右被召集百分率カ戰時國軍ノ要求大ナル職業程小ナル事實アルヲ以テ附表第十七ノ被召集者百分率ハ概略開戦前現在ノ各種職業男子ニ對スル召集可能標準ヲ示スモノナリト謂フヲ得ム

新就業者  
ノ出所

- 千九百十八年七月調ニ係ル工鑛業、農業永久勞務者、運輸交通業、金融銀行及商業、旅館演劇場、官公署、自由業ニ於ケル被備役者(農業永久勞務者中ニハ自作農夫ヲ含ム)ノ新就業者(失業者ヲ差引キ)ハ約二百三十九萬二千人ニ達セリ此ノ二百三十九萬二千人ノ出所ヲ調査スレハ概ネ次ノ如クナルヘシ
- (一) 陸軍召集總員七百萬人中除隊トナリタル者ノ内平時業務ニ就キタル者 約七〇〇、〇〇〇人
  - (二) 開戦後四年間十歳以上ノ男子自然增加人員 約七〇二、〇〇〇人
  - (三) 開戦前ニ於ケル爾他ノ職業特ニ無職業者ヨリノ轉業者(一)及(二)號ヨリ推定) 九九〇、〇〇〇人

注意 (一)及(二)號ノ人員中ニハ前掲工鑛業乃至自由業被備役者以外ノ職業ニ就業シタル者アルヘキモ便宜上之ヲ顧慮外トセリ又戰時中老齡者ニシテ隱退ヲ延期シ若ハ一度隱退シタル者ニシテ再

ヒ勞務ニ服シタル者約二十萬人ニ達セリト謂フ尙又(三)號人員中ニハ外人勞務者ノ増加等ヲモ含ムヘキモ今其ノ數ヲ明ニスルヲ得サルヲ以テ省略シ置ケリ

即チ英國ハ開戦前ノ十歳以上ノ男子中無職業者、自己營業、家事業、雜業、農業臨時勞力及瓦斯電氣水力供給業ニ屬シタル約六百九十五萬九千人中ヨリ約二百十四萬人ノ被召集者ト別ニ約九十九萬六千人ノ他職業ヘノ轉業者ヲ出タセリ而シテ此ノ轉業者ノ出所トシテ六百九十五萬九千人ノ大部ヲ占ムルハ無職業者ノ約三百三十二萬一千人、雜業及自己營業者ノ約二百八十萬三千三百人ナルコト及附表第十二ニ依リ自ラ了解シ得ル如ク家事業ノ四十四萬一千人ハ主要資源タルヘキモノトス又附表第十七ノ新就(失)業者ノ欄ニ於テ獨リ建築業カ負フ數值ヲ示シアルコトハ注意スヘキ現象ニシテ蓋シ此ノ現象ハ鐵材使用制限等ニ原因スヘシ

次ニ千九百十八年七月現在各種職業勞務男子數ト開戦前ニ於ケルモノトヲ比較スルニ其ノ詳細ハ附表第十二ノ如ク休戦前ノ勞務者開戦前ノ夫レニ比シ増加シアルハ諸官營工業ノ開戦前勞務者ニ對スル二十三割九ヲ最多トシ之ニ次キ中央政府管下官署ノ四割二、皮革工業ノ三割、金屬工業ノ〇割九、船員ノ〇割六三、化學工業及鐵道其ノ他ノ〇割三トス而シテ休戦前ノ勞務者開戦前ノ夫レニ比シ減少シアル者ノ中比

較的少キハ鑛山業ノ一割二、鑛業ノ一割四、工業及鑛工業ノ共ニ一割九、瓦斯電氣水力供給業ノ二割二  
等トシ比較的多キハ建築業ノ五割七、自由業ノ四割七、窯業及雜業ノ四割四、郵便電信電話局ノ四割三、  
棉工業ノ四割二、製紙及印刷業、採石業、旅館演劇場ノ何レモ四割一等トス要スルニ右開戦前ニ對スル  
休戦前勞務者ノ増減割合ハ以テ此等職業ノ戰時ハ必要ニ應シ平時ニ比シ幾割ノ男子勞務者ヲ減シ得ルカ  
ニ就キ一ノ標準ヲ與フルモノト謂フヲ得ヘシ

二十  
五  
歳  
ノ  
男  
子  
ノ  
總  
化

更ニ其三ニ研究セル千九百〇九年調獨國各種有職業者年齢別百分比ヲ其ノ儘茲ニ適用シ開戦前ヨリ英國  
各種職業ニ勞務スル二十乃至五十歳ノ男子ニシテ休戦前即チ千九百十八年七月尙殘存セル者ノ開戦前ノ  
總男子數及二十乃至五十歳ノ男子數ニ對スル百分比ヲ推算スレハ附表第十八ノ如ク二十乃至五十歳ノ男  
子數ニ付開戦前ニ對スル休戦前ノ割合最少キハ金融銀行及商業ノ〇割一之ニ次クハ旅館演劇場ノ〇割二  
一及自由業ノ一割三トシ最多キハ地方廳管下官公署ノ五割一之ニ次キ鑛業ノ四割八及運輸交通業ノ四割  
四等トス右ノ現象ト戰時ニ於ケル此等各種職業カ如何ナル状態ニ在ルヘキモノナルカヲ想像シ且後文詳  
述スル此等職業ニ於ケル女子勞務者ノ使用範圍等ヲ参照セハ自ラ其ノ然ル所以ヲ了解スルヲ得ム但シ茲  
ニ注意スヘキハ中央政府管下官署ニ於ケル百分比地方廳管下官公署ニ於ケル百分比ニ比シ小ナルハ前者  
ヲ郵便電信電話局ノモノト合算シアル結果ニシテ之ヲ單獨ニ計算スルトキハ地方廳管下ニ於ケルモノヨ  
リハ却テ大トナルヘキ性質ヲ有スルモノトシ此ノ事ハ附表第十二表ヲ見ハ明瞭ナリ

男子減員  
ト女子ノ  
補填

最後ニ工業、鑛業、農業永久勞力、運輸交通業、金融銀行及商業、旅館演劇場、官公吏、自由業ニ於テ  
開戦前ニ比シ休戦前ノ男子勞務者ノ減員二百五十萬四千人ハ絕對減員ナリヤト謂フニ然ラス其ノ詳細ハ  
後文更ニ詳述スヘキモ右ノ内約百五十萬人ハ女子ニ依リ代位セラレタルモノトス但シ茲ニ代位ト稱スル  
ハ戰前男子ノ就業セル職務ニ戰時女子ノ就業セル者ヲ謂フ故ニ結局開戦前ニ對シ前記職業ニ於ケル男子  
勞務位置ノ缺損ハ休戦前約百萬人ノ前記職業開戦前ノ總男子勞務者數約一千五十八萬四千人ニ比較セ  
ハ僅ニ約一割弱ニ相當スルコトトナル

左記

- (一) 戰時國內各種男子勞務者中ヨリ兵員トシテ召集シ得ヘキ數ハ諸種ノ事情ニ依リ異ルヘキモ附表第  
十七ニ示ス英國各種職業ニ於ケル被召集者百分率ハ之カ標準ト爲スコトヲ得但シ右被召集者百分率  
ハ動員當初ニ於ケルモノヲ示スモノニアラスシテ漸進主義ヲ採ル場合ニ應スルモノトス
- (二) 戰時壯丁ヲ召集セラレタル後不足ヲ訴フル各種男子勞務者ノ不足ハ人口ノ自然増加及無職業者並  
家事業者等ヨリノ轉業ニ依リ補填シ得ル者比較的多キモノナルノミナラス女子ヲ以テ代位セシメ得  
ルモノ極メテ多キモノトス

- (三) 各種男子勞務者中ニハ多數ノ召集者ヲ出クシタル後尙過剩ヲ生スルモノアルモノトス
- (四) 戰時非常ノ場合各種職業男子勞務者ヲ開戦前ニ比シ幾何程度迄減少シ得ヘキカハ諸種ノ事情ニ依リ異ルヘキモ附表第十二ニ示ス千九百十八年七月現在各種職業勞務男子數ト開戦前ニ於ケルモノトノ比較値ハ之カ標準ト爲スコトヲ得ヘシ
- (五) 戰時國內各種勞務者中二十乃至五十歳ノ男子所要割合ハ諸種ノ事情ニ依リ異ルヘキモ附表第十八ニ示ス各種職業ニ於ケル二十乃至五十歳ノ男子ノ開戦前ニ對スル休戦前ノ百分比ハ之カ標準ト爲スコトヲ得ヘシ

其七 戰時ニ於ケル女子勞務者

戰爭ノ男子勞務者ニ及ホシタル影響ノ詳細ハ其四及其六ニ説述セル所ノ如ク戰時男子勞務者ノ缺乏ニ伴ヒ女子勞務者ハ最重要ナル位置ヲ占ムルニ至リ戰時中無職業女子ノ出テテ職業ニ從事セル者千九百十八年七月迄ニ約百三十四萬五千人開戦前有職業女子ノ約二割三ニ達スルニ至レリ各種勞務者中ニ於ケル女子ノ開戦前ニ對スル休戦前ノ状態ハ附表第十二又戰役ノ發展ニ伴フ女子有職業者ノ變遷及女子勞務者中戰時直接男子ヲ代位シ開戦前男子ノ占位セル職業ニ就業セル者ハ附表第十九ノ如ク戰時ニ於ケル女子勞務者數ノ變遷及直接男子ヲ代位セル女子數ハ戰役ノ經過ト共ニ増大セルコトヲ發見シ得ヘシ以下主トシテ開戦前ニ對スル休戦前即チ千九百十八年七月ニ於ケル女子勞務者ノ變遷ニ就キ研究スル所アラトス

女子勞務者ノ増加及其位置

開戦前ニ對スル休戦前ノ女子

戰時増加女子ノ出所

女子就業位置

開戦前ニ於ケル英本國人口女子約二千三百七十二萬二千人、内有職業者約五百九十六萬六千人、無職業十歳以上約一千二百九十四萬六千人、十歳以下約四百八十萬九千人ノ内容ハ附表第十九ニ又職業別男女比、有職業者及生産年齢者等ニ對スル職業別百分比ハ其一ノ説明ニ讓リ直ニ休戦前ノ状態ニ就キ研究セムニ開戦前ニ對スル休戦前ノ女子ハ總計ニ於テ約八十一萬七千人(〇割三)ヲ増加シ無職業十歳以下ノ女子ハ七萬八千人(〇割二)ヲ減シ無職業十歳以上ノ女子ハ四十五萬人(〇割四)ヲ減シ結局有職業女子數ハ約百三十四萬五千人(二割三)ヲ増加スルニ至レリ即チ有職業者戰時増加人員百三十四萬五千人ノ内百二十六萬七千人ハ戰役四箇年間ニ於ケル女子自然増加數タル八十一萬七千人ト十歳以上ノ無職業者ヨリ有職業ヘノ轉業者四十五萬人ヨリ來ルモノト看做スヲ得ヘク殘リ七萬八千人ノ出所ニ就テハ之ヲ明ニスルヲ得サルモ右ハ統計上ノ不備ヨリ來リタルモノナラム而シテ右有職業者戰時増加人員百三十四萬五千人ノ大部ヲ吸收シタルハ工業ノ七十八萬八千人(戰時増加人員ノ約五割八六)及商業ノ約三十五萬四千人(同二割七七)計百十四萬二千人(八割六三)トス次ニ各種職業中女子數ノ減少シタルハ家事業ノ約四十萬人ヲ最トシ之ニ次キ被服品製造及製靴業ノ四萬四千人、棉工業ノ三萬六千人、製紙及印刷業ノ六千人、建築業ノ三千四百人トス民營工業ニ就キ謂フトキハ金屬工業、化學工業、食糧飲料及煙草業、木材工業、皮革工業及其ノ他ノ雜業ニ於ケル戰時増加要員計六十四萬八千九百人中八萬九千四百人ハ棉工業、被服品製造及製靴業、製紙及印刷業並建築業ヨリ補填シ殘リ五十六萬五千五百人ヲ家事業及無職業者ヨリ補填

開戦前ニ  
對スル休  
戦前ノ割  
合

セルコトナル

三八

開戦前現在人員ニ對スル休戦前現在人員ノ割合中最大ナルハ諸官營業ノ一、一五〇割ニシテ之ニ次ク  
 中央政府管下官署ノ一八〇割九、電氣鐵道業ノ一四〇割、採石業ノ七一割六、瓦斯水力電氣供給業ノ六六  
 割七、金融及銀行業ノ六六割、運輸交通業(船員ヲ除ク)ノ五二割七等トシ反對ニ開戦前現在人員ニ對シ休  
 戦前現在人員減少シ其ノ減少割合最大ナルハ男子勞務者ノ部ニ於テ見シト同シク建築業ノ五割八トシ之  
 ニ次ク家事業ノ二割四、棉工業ノ〇割九、被服品製造及製靴業ノ〇割七等トス以上女子勞務者ノ變遷ト  
 其六ニ詳述セル男子勞務者ノ變遷トヲ綜合シ開戦前男女計現在人員ニ對スル休戦前ノ景況ハ附表第十二  
 ノ如ク休戦前ノ開戦前ニ比シ増加シアルハ金屬工業ノ三割二、化學工業ノ三割四、皮革工業ノ六割、諸官  
 營業ノ五二割二、運輸交通業(船員ヲ除ク)ノ一割一、中央政府管下官署ノ二割二ニシテ其ノ他ノ職業ニ  
 在リテハ休戦前總勞務者ハ開戦前ヨリハ減少シ其ノ減少割合ノ最大ナルハ建築業ノ五割七トシ之ニ次ク  
 ヲ電氣鐵道業ノ三割六、窯業及雜業ノ二割八、製紙及印刷業ノ二割五、農業永久勞務ノ二割四、棉工業ノ二  
 割二等トシ減少割合ノ小ナルハ自由業ノ〇割〇、工業計ノ〇割四、金融及銀行業ノ〇割五、商業ノ〇割  
 六、郵便電信電話局ノ〇割九等トシ更ニ各種職業毎ニ總勞務者中ノ男女割合ニ付開戦前ト休戦前トノ比  
 較ヲ便ナラシムル爲附表第十二ニ依リ一表ヲ作製スレハ附表第二十甲ノ如ク開戦前ト休戦前トニ於テ男  
 女割合ノ大體ニ於テ變化ナキハ建築業、鑛山業、採石業、地方廳管下瓦斯水力電氣供給業(船員モ亦然リ)

開戦前ニ  
對スル休  
戦前ノ割  
合

理想的男  
女及熱練  
職工割合

戦時増加  
シタル女  
子ト男子  
ノ代位セ  
ル女子ト  
ノ關係

ニシテ開戦前ニ比シ休戦前男子勞務者割合最多ク減少シ女子勞務者割合ノ最多ク増加シタルハ中央政府  
 管下官署ノ四割八トシ之ニ次ク諸官營業工業ノ四割四、金融及銀行業ノ三割五、自由業ノ三割三、電氣  
 鐵道業ノ三割二、郵便電信電話局ノ二割八、商業ノ二割四等トス要スルニ以上開戦前ニ對スル休戦前各  
 種職業女子勞務者數ノ變遷及之ニ男子勞務者ノ變遷ヲ加味シ說述セル諸統計値ハ戰時男子勞務者ノ不足  
 ニ對スル女子勞務者利用可能程度並各種職業所要總勞務者充當標準ヲ示スト共ニ女子勞務者ノ男子勞務  
 者代位程度ヲ示スモノト謂フヲ得ヘシ尙右ニ關聯シ英國機械業調査委員會報告ニ係ル各種機械工業ニ最  
 適當ナル男女工割合及熱練職工所要割合ヲ示セハ附表第二十乙ノ如ク亦以テ參考ト爲スヲ得  
 戰時各種職業(附表第十九自工業至農業、永久勞力)職業ニシテ鑛業ヲ除ク女子被備役者中戰前男子ノ從事セシ職業  
 位置ニ就業シ直接男子ヲ代位シタル者ハ千九百十八年四月約百五十一萬六千人ニ達セリ然ルニ當時前記  
 職業女子増加數モ又約百五十三萬二千人ナルヲ以テ此ノ戰時増加女子ノ内僅々一萬六千人ヲ控除シタル  
 他ノ大部ハ戰前ノ觀念ニ基ク女子勞務者トシテ補充セラレタルニアラスシテ男子ヲ代位スル爲ニ補充セ  
 ラレタル關係トナルコトヲ知ルヲ得ヘク更ニ之ヲ各種職業ニ就キ見ルモ戰時増加シタル女子勞務者數ノ  
 直接男子ヲ代位シタル女子數ヲ超過シアルハ金屬工業、化學工業、木材工業、皮革工業、諸官營業、  
 電氣鐵道業、金融及銀行業、商業、地方廳管下公署ニシテ且此ノ超過人員ハ戰時増加シタル女子勞務者  
 數ノ一小部分ニ過キス即チ以上ハ前掲附表第二十甲ニ示ス開戦前ニ對スル休戦前各種職業男女割合變遷

ト共ニ女子勞務者ノ男子勞務者代位程度ヲ示スモノト謂フヲ得ヘシ  
戰時ニ於ケル女子勞務問題ニ關シテハ更ニ稿ヲ改メテ詳述スヘキモ以上研究セル所ヲ綜合セハ戰時ノ勞務力運用上左記ニ關シ一ノ標準ヲ得ヘシ

四〇

左記

- (一) 戰時兵員召集ニ伴フ國內男子勞務者不足ニ對シ女子勞務者ハ其ノ代用トシテ極メテ重要ナルモノトス
- (二) 戰時各種職業ニ必要ナル女子勞務者出所ノ大部ハ無職業者即チ家庭内ニ在ル者ニシテ之ニ次クヲ奴婢等ノ家事業者トシ其ノ他一部ノ工場勞務者中不要ニ歸スル者等トス
- (三) 附表第十二ニ示ス開戰前ニ對スル休戰前ノ各種職業男女及其ノ計増減景況ハ各種職業ニ對スル勞務者充當標準ト爲スコトヲ得ヘシ
- (四) 附表第二十甲ニ示ス開戰前ト休戰前トニ於ケル各種職業男女割合ノ變遷及附表第十九ニ示ス直接男子ヲ代位シタル女子數ト戰時増加シタル女子數トノ比較ハ各種平時男子ノ勞務者中戰時女子ヲ以テ代位セシメ得ヘキ程度ニ就キ標準ヲ與フルモノトス
- (五) 戰時増加スル女子勞務者ノ大部ハ戰前男子ノ就業セル職業ニ充當セララルモノニシテ戰前女子ノ就業シタル職業ニ充當セララルモノハ其ノ一小部分ニ過キス換言セハ國內産業ハ其ノ總和ニ於テハ

平時ト戰時ト大ナル差異ナク寧ロ戰時ハ平時ニ比シ却テ若干減少スルモノトス

- (六) 附表第二乙ハ機械工業ノ一部ニ對シ最適當ナル男女工割合及熟練職工所要割合ニ就キ標準ヲ與フルモノトス

其八 老年及幼年勞務者

女子勞務者ニ次キ老年者及幼年者ノ勞務ハ戰時勞務ニ關シ重要ナル因子トス然レトモ老年勞務者ニ關シテハ老齡者ニシテ隱退ヲ延期シ又ハ一度隱退シタル者ニシテ再ヒ勞務ニ復歸シタル男子休戰前迄ニ約二十萬人ニ達シタルコト又幼年者ニ關シテモ一部ノ統計値ノ外未タ詳知スルヲ得サルヲ以テ之カ詳細ハ他日ニ讓ルコトトス但シ目下知リ得タル幼年勞務者ニ對スル數値ヲ一表ニ蒐録シ參考ノ爲掲クレハ附表第二十一ノ如ク以テ幼年勞務者ト雖亦忽諸ニ附スヘカラサルヲ知ルヲ得ム

其九 鑛業勞務者ト產額トノ關係

英國鑛山及採石業勞務者ニ就キ開戰前ト開戰第三年即チ千九百十六年末ニ於ケルモノトヲ比較スレハ附表第二十二ノ如ク開戰前ニ於テ約男子百十五萬七百人、女子六千七百人計百十五萬七千四百人ヲ使用シタル鑛山業ハ千九百十六年末男子ハ約一割二ヲ減シ百萬八千人、女子ハ約四割一ヲ増加シ一萬人合計ニ於テ約一割二ヲ減シ百一萬八千人トナリ採石業ニ於テハ變化著シク男子ハ約四割一ヲ減シ女子ハ約七割六ヲ増加セシモ結局合計ハ戰前ニ比シ約四割一ノ減少トナレリ更ニ鑛山及採石業ヲ通算スルトキハ開

千九百十六年末迄ニ於ケル勞務者ノ増減

千九百十七年以後ノ詳細ハ不明ナリト雖千九百十八年七月調鑛業勞務總男子數約百一萬五千六百六十人ニシテ之ヲ千九百十六年末ノモノト比較セハ其ノ差僅ニ四萬人弱ニ過キサシムヲ以テ先ツ千九百十六年以降大ナル變化ナキモノト看做スヲ得ヘシ又鑛業勞務者中被召集者及爾後ノ補填景況ハ次表ノ如ク更ニ千九百十八年七月迄ノ被召集者四十四萬八千人ハ開戰前ヨリノ二十歳乃至五十歳ノ主要勞務者ノ約五割ニ(附表第十八參照)ニ相當セリ

戰前約百二十三萬一千六百六十人ノ男子、六千七百八十人ノ女子合計百二十三萬八千三百八十人ハ千九百十六年末ニ於テ約男子十七萬五千六百六十人ノ減少、女子三千四百八十一人ノ増加合計ニ於テ十七萬二千九百人(開戰前總勞務者ノ約一割四)ノ減少トナレリ

千九百十七年以後ノ詳細ハ不明ナリト雖千九百十八年七月調鑛業勞務總男子數約百一萬五千六百六十人ニシテ之ヲ千九百十六年末ノモノト比較セハ其ノ差僅ニ四萬人弱ニ過キサシムヲ以テ先ツ千九百十六年以降大ナル變化ナキモノト看做スヲ得ヘシ又鑛業勞務者中被召集者及爾後ノ補填景況ハ次表ノ如ク更ニ千九百十八年七月迄ノ被召集者四十四萬八千人ハ開戰前ヨリノ二十歳乃至五十歳ノ主要勞務者ノ約五割ニ(附表第十八參照)ニ相當セリ

鑛業勞務男子被召集者及爾後ノ補填景況一覽表

| 年         | 現在員       | 被召集者    | 新就業者    | 差引増(減)    | 開戰前ニ對スル同ノ上百分比 |           |
|-----------|-----------|---------|---------|-----------|---------------|-----------|
|           |           |         |         |           | 被召集者          | 新就業者      |
| 開戰前       | 一、二三二、六〇〇 |         |         |           |               |           |
| 千九百十四年十二月 | 一、一〇三、二〇〇 | 一六九、〇〇〇 | 四〇、六〇〇  | (二二八、四〇〇) | 一三七           | 三三(一〇・四)  |
| 千九百十五年一月  | 一、〇六一、六〇〇 | 二二二、〇〇〇 | 四二、〇〇〇  | (一七〇、〇〇〇) | 一七二           | 三四(一三・八)  |
| 千九百十八年七月  | 一、〇五六、〇〇〇 | 四四八、〇〇〇 | 二七二、四〇〇 | (一七五、六〇〇) | 三五三           | 二一三(一四・〇) |

勞務者ノ變化ト鑛產額ノ比較

前掲勞務者ノ變化ト鑛產額ノ變化トヲ對照比較ヲ試ムル爲年產額千噸以上ノ主要鑛山及採石產額トヲ舉クレハ附表第二十三ノ如ク鑛山產額ハ總噸數ニ於テ千九百十三年ニ比シ千九百十四年ニ於テ約〇割九、千九百十五年ニ於テ約一割二、千九百十六年ニ於テ約一割一ヲ又採石產額ハ千九百十六年ニ於テ約三割七ヲ、鑛山及採石產額計ノ千九百十六年ハ約一割四ノ減少トナリ鑛產額ノ變化ハ勞務者ノ變化ト相比例シ且克ク相一致シアルコトヲ知ルヲ得ヘシ

以上及戰時中絶エス英國カ鑛業勞務者ノ補充難ニ苦ミ鑛業勞務者中比較的多數ノ被召集解除者(千九百十六年六月迄ニ約一萬六千人)ヲ出タシタルコト並前陳ノ如ク鑛業勞務者トシテハ他ノ職業ノ如ク女子勞務者ヲ以テ男子勞務者ニ代位セシムル餘地極メテ僅少ナリシコト等ヨリ戰時ノ鑛業勞務力ニ關シテハ左記事實ヲ認容スルヲ得ヘシ

左記

- (一) 鑛山業又ハ採石業產額ハ其ノ勞務者數特ニ其ノ男子數ノ變化ニ比例シ且相一致スルモノナルコト
- (二) 佛國港灣勞務者ニ於ケルト同シク特種力役ヲ要スル鑛業勞務者ノ補充ハ困難ニシテ其ノ男子勞務者ニ對シ女子ヲ以テ代位セシメ得ル餘地極メテ僅少ナルコト

其ノ、農業勞務者ト產額トノ關係

開戰前及休戰前ニ於ケル農業勞務者ハ前述セル如ク更ニ千九百十六年末ニ於ケルモノヲ合シ再録スレハ

勞務者數  
ノ總數

四四

附表第二十四ノ如ク千九百十六年ニ於ケル農業勞務男子中被召集者ハ開戦前現在人員ニ對シ自作農夫ハ約一割、小作農夫ハ約六割以上計永久勞務者ハ四割九五又補助農夫ハ五割、臨時小作人ハ九割以上計臨時勞務者ハ六割一次ニ全勞務者ハ約五割三七トシ其ノ後ニ於ケル勞務者ノ變遷ハ休戦前現在永久勞務者カ開戦前ニ比シ男子ハ七割五ニ減少シ(千九百十六年末ニ比シ増加)女子勞務者ハ百十一割ニ増加シ女子臨時勞務者ハ百十六割ニ増加セルコトノ外未タ知ルヲ得スト雖大體ニ於テ英國農業勞務者ハ千九百十六年末ニ於テ男子ハ開戦ノ約半部以下ニ減少シ其ノ後ハ却テ増加セリ又女子勞務者ハ戰時増加セルモ其ノ増加割合ハ極メテ僅少ナルコトヲ知ルヲ得ヘシ但シ千九百十六年迄ノ召集率自作農夫ノ一割ヨリ臨時小作人ノ九割ノ間ニ變化シ其ノ變差ノ大ナルハ注意スヘキ現象ナルモ此ノ原因ハ主トシテ英國ノ徵兵法ニ關スヘシ

前項ニ依リ英國戰時農業勞務ノ一般ヲ窺知シ得タルヘキヲ信スルヲ以テ以下更ニ英國戰時農産ノ一般ヲ稍詳細ニ研究シ前掲佛國戰時農産ト比較スル所アラムトス蓋シ帝國ハ目下尙農業國ニシテ總人口約五千三百萬人、十五歳以上六十歳未満ノ生産年齢者約三千萬人中農業勞務者ハ約一千六百萬(大正四年調查農家戸數五百四十五萬三千九百六十九戸、一戸當人口五・四四人中農業勞務者三・九人トシテ計算)ニ達シ單ニ勞務資源ノ點ヨリ謂フモ農業勞務者ハ全生産年齢者ノ約五割四分ヲ占ムルノミナラス主要農産物タル米麥類ノ生産額如何ハ國軍ハ勿論一般國民ノ死活問題ニ影響スル所甚大ナルヲ以テナリ

國內農耕  
用馬數

英國戰時農産額ヲ研究スルニハ開戦前ニ於ケル英國農業ノ國內産業上ニ於ケル位置ハ極メテ低ク且幼稚ナリシコトヲ先ツ念頭ニ置キ更ニ前記勞務資源ノ減少ニ係ラス(一)英國ノ工業力ハ必要ニ應シ肥料並農業用器具機械ヲ供給シ得タルコト(二)季節勞務者ノ使用ニ關シ陸上軍ノ編成、兵卒ノ歸農等特別ナル處置ヲ講シタルコト(三)動物勞力ニ就テハ成ルヘク之ヲ農園ニ殘置スルニ努メタルコト等ヲ了解スルヲ要ス而シテ(一)及(二)ニ關シテハ今之ヲ具體的數値ヲ以テ説明シ得サルヲ以テ單ニ戰前ニ比シ大ナル努力ノ跡アルコトヲ容認スルニ止メ以下主トシテ農業用動物ニ就キ少シク具體的說明ヲ試ミムニ英國軍力這次戰爭中軍馬トシテ新ニ徵用ヲ要シタル馬數ハ約百三十五萬頭ニシテ之ニ對スル開戦前英國國內總馬數ハ約二百二十萬頭ナリ故ニ前記軍馬數ヲ國內ヨリ徵用セムカ國內馬數ハ約六割ヲ減シ九十萬頭内外トナリ國內勞力用動物ニ一大缺陷ヲ生シ國內ノ有スル産業ハ大打撃ヲ受クヘキ狀況ニ在リ然ルニ賢明ナル英國當路者ハ新ニ徵用ヲ要スル軍馬百三十五萬頭ノ内約百萬頭ヲ國外ヨリ購入シ國內徵用數ヲ約三十五萬頭ニ止メ更ニ除役馬等ヲ國內ニ還送シタル結果附表第二十五ニ示スカ如ク國內全般ニ就キ謂フトキハ農耕及繁殖用並放牧馬數ハ千九百十四年乃至千九百十六年ニ於テ戰前ニ比シ約一割内外ノ減少ニ過キササルノミナラス千九百十七年ニ入りテハ殆ト戰前ト同數ヲ保持シ又千九百十七年ノ愛蘭ニ就キ謂ヘハ戰前ニ比シ約馬ハ〇割三、騾馬ハ二割、驢馬ハ〇割六ノ減少ニ過キス以上ニ依リ英國戰時農産資源ノ一般ヲ窺知シ得タルヲ以テ更ニ進テ其ノ主要農産物ノ戰時狀態ヲ調査スル所アラムトス

耕地面積

每「エーカー」  
均産額

英國戰時主要農産物耕地面積ハ附表第二十六ノ如ク耕地ノ種類ニ依リ變化アルモ全般ニ就キ謂フトキハ耕地面積ハ開戦後逐次増加シ千九百十七年ニ於テハ千九百十三年ニ比シ乾草用耕地ヲ除キタルモノニテ約〇割九ノ増加ヲ見ルニ至レリト雖大ナル變化ヲ發見スル能ハス又各耕地「エーカー」毎ノ平均年産額ハ附表第二十七ノ如ク一般ニ千九百十五年以降ハ戦前ニ比シ年産額ヲ減少シ中ニハ千九百十七年ニ於テ約二割ノ減收ヲ示セルモノナキニアラスト雖全般ヨリ謂フトキハ其ノ減收率ハ豫想外ニ僅少ナリト謂フヘク更ニ又各種農産物毎ニ前記耕地面積ト「エーカー」年收額トニ依リ千九百十三年ト千九百十七年トノ國內全産額ヲ試算セハ附表第二十八ノ如ク總體ヨリ謂ヘハ戦前ニ比シ戦時中却テ農産額ヲ増加シタル事實ヲ發見シ得ヘシ而シテ之カ原因ニ關シテハ更ニ各種方面ヨリ慎重研究ヲ重ネ帝國農業組織ト對照スルニアラサレハ帝國將來ノ戰時農業ノ如何ヲ判定スルヲ得スト雖之ニ類似セル事實ヲ附表第二十九ニ示ス帝國製鹽業ニ發見シ得ルコト並開墾助成法ニ關スル當局者ノ説明ニ依ルモ帝國農産額ハ耕地ノ擴張以外尙幾多増收ノ見込アルコト等ヨリ推定セハ遠キ將來ハ別トシ帝國戦時ノ勞務資源運用問題等ヲ研究スルニ方リ農産物ノ如キ之ヲ前記産額等ト同一視シ勞務者ノ徵用ト同一割合ヲ以テ減少スルモノアリト速断スルヲ得サルコトヲ知ルヲ得ム

以上ニ依リ左記ノ事實ヲ認ムルヲ得ヘシ

左記

英國農業ノ如ク戦時努力ヲ以テスルモ尙改善ノ餘地大ナルモノニ在リテハ某程度迄ハ其ノ勞務者ヲ奪取スルモ其ノ年産額ヲ克ク戦前ノ状態ニ保持シ得ルモノニシテ帝國農業ニ在リテモ幾分之ニ類似セル所アルカ如シ

其十一 漁獲

開戦直前ニ於ケル英國海洋漁業者數ハ男子約九萬六千八百四十七人、其ノ漁獲年額ハ千九百十三年約百二十萬四千噸ナリ而シテ開戦後ニ於ケル漁業者數ノ變化ハ不明ナリト雖前掲各種職業ニ於ケル男子勞務者ノ戦時状態ヨリシテ海洋漁業者數ノ戦時減少率モ又五割内外タリシコトハ推定スルヲ得ヘシ次ニ開戦後ニ於ケル漁獲年額ヲ調査スレハ次表ノ如ク英國漁獲年額減收ノ原因中ニハ海洋ノ危險並對潛航艇戰用漁船ノ徵用等存在スヘキモ漁獲年額ノ減收ト漁業勞務者ノ減員ト概ネ比例シ且相一致シアルヲ知ルヲ得ヘシ

英國戰時漁獲年額變遷一覽表

| 年次     | 年收額 (噸)   | 開戦前ニ對スル同上減額率 |
|--------|-----------|--------------|
| 千九百十三年 | 1,104,000 | 0.0%         |
| 千九百十四年 | 880,000   | 10.0%        |

|        |       |     |
|--------|-------|-----|
| 千九百十五年 | 四三〇〇〇 | 六五〇 |
| 千九百十六年 | 四一〇〇〇 | 六六〇 |
| 千九百十七年 | 三九〇〇〇 | 六七〇 |

以上ニ依リ左記事實ヲ容認スルヲ得ヘシ

左記

戰時漁獲年額ハ大略其ノ男子勞務者ノ減少ニ比例シ減少スルモノナリ

其十二 戰時勞務者ノ出所

工場女子勞務者ノ出所  
 千九百十七年現在各種民營工業被備役女子勞務者中四十四萬四千三百三十七人ニ付其ノ出所ヲ戰前ニ於ケル職業別トシタルモノハ附表第三十ノ如ク戰前ヨリ引續キ同一工場ニ勞務シ在ル女子ハ全工業ヲ通シ僅ニ三割〇七ニ過キスシテ戰時勞務位置ヲ變更シ他ノ職業ニ就キタル者六割九三此ノ六割九三ノ内新ニ工業界ニ入りタル者ハ四割五八トシ残り二割四一ハ工業界ニ於テ單ニ勞務位置ヲ變更シタルニ過キス更ニ之ヲ二、三職業別ニ就キ觀察スルニ戰時新ニ金屬工業界ニ入りタル者ハ五割一九ニシテ内新ニ工業界ニ入りタル者ハ三割三三、残り一割八七ハ他ノ工業界ヨリ來リ又戰時新ニ化學工業界ニ入りタル者ハ九割一六ニシテ内新ニ工業界ニ入りタル者ハ六割五六、残り二割六ハ他ノ工業界ヨリ來リタル者トシ單ニ工業

界内ニ在リテ勞務位置ヲ變更セル者割合ニ多キハ注意スヘキコトニシテ更ニ戰前紡織工業(被服品製造及製靴業)勞務者ニシテ戰時勞務位置ヲ變更シタル者一萬五千八八(三萬九千七百九十三人)中同シク他ノ紡織工業(被服品製造及製靴業)ニ就業シタル者千三百七十七人(八千四百三十人)ニシテ前記一萬五千八八(三萬九千七百九十三人)ノ約〇割九二(二割一二)ニ過キス其ノ大部ハ他ノ經驗ナキ工業ニ就業シ紡織工業(被服品製造及製靴業)ニ於テハ戰時新ニ一萬五千七百七十七人(三萬三千二百二十二人)ノ新勞務者ヲ迎ヘ内既經驗者ハ前記ノ如ク千三百七十七人(八千四百三十人)ニシテ前記新勞務者ノ約〇割九(二割五三)ニ過キサル亦注意スヘキ現象トス此ノ終リノ事象カ萬已ムヲ得サル事情ニ基クモノナリヤ否ヤハ不明ニシテ尙研究ノ餘地アリト雖將來國內勞務資源運用ヲ策スルニ方リテハ斯ノ如キ不經濟的勞務者ノ移動ヲ成ルヘク極限スルニ努力スルハ當路者ノ著意スヘキコトトス尙以上ト附表第十三ニ現ハレタル數字トヲ併セ觀察セハ其七ニ於テ研究セル戰時新ニ必要ナル女子勞務者ノ出所カ無職業者並家事業タルコトノ觀念ヲ益深クスルヲ得ヘシ

其ノ他ノ  
 在英蘭五、在蘇格蘭一、計六大勞働仲介所ニ於テ 自千九百十六年一月中旬至同 年九月中旬 八箇月間ニ仲介セシ新就業(轉業ヲ含ム)被備役女子ニシテ化學工業ニ振向ケシ者一萬四千四百十五人、金屬工業ニ振向ケシ者四千六百六十七人ニ付出所別ニ從フ百分比ヲ求メタルモノハ附表第三十一ノ如ク附表第三十二ニ於ケル現象ヲ更ニ詳細ニスルヲ得ヘシ即チ千九百十六年九月中旬ニ終ル八箇月間ニ化學工業(金屬工業)ニ入りシ一萬四千四百十五

人(四千六百六十七人)中同シク工業界ヨリ來リシモノ四割七四(五割四八)ニ對シ内同種工業ヨリ來リシモノハ〇割七八(二割八一)ニシテ又無職業ハ二割三五(二割一五)、家事業者タル家婢ハ二割〇五(一割二六)トス更ニ在「グラスゴー」三砲彈工場機械作業女工中任意ニ選出セル三百七十人ニ對スル出所別一覽ヲ參考ニ舉クレハ附表第三十二ノ如ク概ネ附表第三十一ト同一ノ事象ヲ發見スルヲ得ヘシ但シ附表第三十二ニ於テ特ニ注意スヘキハ女工中未婚者ト既婚者トヲ區分シアルコトニシテ女工百人中未婚者ハ約八割ニシテ既婚者カ割合ニ少キコト是ナリ

單ニ附表第十二及第十九ニ依ル各種職業戰前戰時ノ女子勞務者ノ變遷並附表第三十及第三十一ノ女子勞務者ノ出所トヲ比較對照スルトキハ英國女子勞務者カ必要以外ニ戰時移動セルコトヲ發見スルヲ得而シテ英國政府ハ男女ヲ問ハス一般勞務者カ自己ノ自由意志ニ基キ利益ヲ追フテ轉業スルヲ防壓スル爲法律ヲ以テ某範圍ノ制限ヲ試ミ爲ニ同盟罷工ヲ誘引シタルコトサヘアリタルモ未タ十分其ノ目的ヲ達成スル能ハサリシハ事實トス又附表第十三ト附表第三十一トヲ對照スルトキハ農業勞務女子ニシテ戰時他ニ轉業セルモノ他ノ職業勞務女子ニ比シ最僅少ナルコトヲ知ルヲ得ヘク其ノ原因ハ蓋シ自然ノ趨勢トシテ(一)農業界ニ於テハ兵員召集ニ伴フ勞務者ノ不足以外ニハ戰爭影響ヲ蒙ル打撃少ク失業者ヲ生スル等ノコト殆ト絶無ナルコト(二)戰時勞務力ノ不足ヲ訴フルハ鑛業以外ハ多ク都會地ニシテ過剩ヲ生スルモノモ亦都會地タルコト(三)農業其ノモノモ既ニ勞務者ノ不足ヲ訴ヘ自給自足スルニ足ラサルコト等ニ依ルヘキモノナ

ラム左記商務院勞働公報千九百十七年三月號ノ一説ハ勞務者ノ移動カ多クハ都會地ヨリ都會地ノ間ニ行ハルヘキモノナルコトヲ證明スルモノニシテ同時ニ戰時工業地ニハ他地方ヨリ吸收セラルヘキ勞務者ニ對シ相當設備ノ必要ナルコトヲ教ユヘシ

左記

此ノ最後ノ一箇月(註、千九百十六年ノコトナリ)間ニ於テモ二百ノ異レル勞働仲介所管轄内ヨリ五千百十八名ノ婦人カ八箇ノ軍需品製造ノ大中心ニ誘引セラレタリ例ヘハ蘇格蘭南方ニ於ケル「工場ニハ六十三箇ノ異レル地方ヨリ千六百四十一名ノ婦人カ同期間ニ誘引セラレタリシカ就中「ダイン」河畔ノ二都市ヨリ來レル者二百二十八人、「バーウキック」市ヨリ四十人、「インヅアネス」市ヨリ五十五人、「フアンフシャー」州ノ一寒村ヨリ九名ヲ算シタリ又西方中部ニ在ル一工場ニハ遠ク「アバアデキーン」及「ペンサス」等ノ諸都市ヨリ七百七十二人ノ女子ヲ雇入レ來レリ

以上ハ主トシテ女子勞務者ニ關スル現象ナリト雖男子勞務者ニ關シテモ又概ネ同様ナルハ推定シ得ヘシ今參考トシテ帝國各種工場カ這次時局後大正六年十月迄ニ新ニ募入シタル職工ノ出所職業別ヲ舉クレハ附表第三十三ノ如ク又別ニ帝國各種工場ニ於ケル平時職工出入狀態ニ關スル統計值カ職工ノ約半數カ就業一年未滿者ニシテ一箇年ニ於ケル出入職工數カ概ネ全職工數ト同一ナルコトヲ示スコトヨリシテ現在ト同様自然放任主義ヲ持續シタル場合ニ於ケル帝國將來ノ戰時勞務者移動狀態ハ恐ラク前述英國戰時勞

務者移動状態以上ノ状態ヲ呈スルモノト想定スルヲ得ヘシ  
之ヲ要スルニ以上説述セル所ニ依リ左記事實ヲ發見スルヲ得ヘシ

五二

左記

- (一) 戦時各種工業ニ要スル勞務者中ニハ他ノ各種工業ヨリ相當補充シ得ル者アルモノトス
  - (二) 戦時ノ如キ勞務者ノ動搖殊ニ大ナル場合ニ在リテハ其ノ間極メテ不經濟的移動出現スルモノトス  
例ヘハ金屬工業界ヨリ出テテ化學工業界ニ入ル者アルト共ニ化學工業界ヨリ出テテ金屬工業界ニ入ル者アルカ如シ
  - (三) 戦時新ニ補充ヲ要スル各種勞務者ノ大部ハ其ノ要求概ネ都會地ニ於テ起ルモノニシテ之カ資源ノ大部モ亦都會地ニ在ルモノトス
  - (四) 農業勞務者ニシテ戦時他ニ轉業スル者ハ他ノ者ニ比シ極メテ僅少ナルモノトス
  - (五) 大都市ニ在リテハ戦時他地方ヨリ吸收スル勞務者ニ對スル設備ヲ必要トスルモノトス
- 其十三 戦時工業
- 戦時工業ノ詳細ニ關シテハ別ニ稿ヲ改メテ記述スルコトトシ茲ニハ單ニ國內勞務資源ノ變遷ニ關聯シタル戦時工業ノ一般ヲ紹介スルニ止メムトス
- (一) 石炭消費額

石炭消費者ノ主體ハ工業、船舶及鐵道等ニシテ此等ノ戦時ハ平時ニ比シ繁忙ヲ極メ從テ其ノ石炭消費額モ又平時ニ比シ多大ノ額ニ達スヘシトハ何人モ想像スル所ナリ然ルニ開戦後ニ於ケル國內石炭消費ノ景況ヲ示セハ附表第三十四ノ如ク御用船ノ徵用ニ伴ヒ外國貿易船ノ消費額ハ開戦後著シク變化シ減少セルモ國內全般ノ消費額ハ殆ト大差ナク概ネ開戦前ノ消費額ヲ以テ戦時ヲ經過セル事實ヲ發見スルヲ得ヘシ而シテ之ヲ更ニ附表第十二ニ於テ休戦前ノ勞務者カ開戦前ニ比シ工業ニ於テ約〇割四ノ減少、運輸交通機關ニ於テ約一割一ノ増加ヲ示ス事實ト對照スルトキハ其ノ然ル所以ヲ了得スルヲ得ルト共ニ戦時ノ石炭消費ノ變化ハ工業及運輸交通機關勞務者數ノ變化ト概ネ相一致スルモノナルコトヲ知ルヲ得ム

(二) 鐵消費額

戦時金屬工業ノ一般ヲ窺フ爲銑及鋼平均一週間ノ産額及銑消費額並鋼消費額ヲ舉クレハ附表第三十五並第三十六ノ如ク此等ト附表第十二ニ示ス開戦前ト休戦前トノ金屬工業勞務者ノ變化トヲ對照セハ概ネ相一致シアルヲ知ルヲ得ム

(三) 棉花、羊毛及亞麻消費量

紡織工業ノ戰爭影響ヲ窺フ爲棉花、羊毛及亞麻戦時國內消費量ヲ示セハ附表第三十七ノ如シ但シ右國內消費量ハ國內生産量ト輸出入量トヨリ算出シタルモノナルヲ以テ之ヲ以テ直ニ紡織工場ノ消費

量ト速断スルヲ得スト雖亦以テ大體標準タラシムルヲ得ヘク右消費量ト附表第十二ニ示ス開戦前ニ對スル休戦前勞務者ノ變遷トヲ對照スルニ羊毛消費量ノ減額(二割八)ト羊毛紡織工業男子勞務者ノ減員(二割六)トハ概ネ相一致シ棉花消費量ノ減額(三割一)ハ棉紡織工業男子勞務者ノ減員四割二ヨリ小ナリ蓋シ右ハ棉花カ紡織工業以外無烟藥原料トシテ多大ニ消費セラレタル關係トス但シ茲ニ注意スヘキハ棉毛工業共ニ休戦前女子勞務者ハ開戦前ト大差ナキコトニシテ此ノ事ハ更ニ後日資料ヲ得テ探明ヲ期セムトス

其十四 結言

前研究ヲ以テハ未タ不十分ニシテ更ニ調査ヲ要スル點多キハ勿論トス然レトモ之ヲ他國ノ部ト對照セハ戰時國內勞務資源運用ニ關シ大體ノ基準ヲ獲得スルヲ得ム尙戰時英國船舶數ノ變遷、英國港灣出入貨物ノ變遷、鐵道收入狀態及開戦直後ニ於ケル郵便電信取扱數ヲ參考ノ爲示セハ附表第三十八乃至第四十一ノ如シ

附 表

附表第一

佛國重要工場四萬七千二付運轉工場數變遷一覽表

| 工場種類別     | 運轉工場數  |          |          |          | 同上百分比(開戦前ニ比シ) |          |          |          |    |
|-----------|--------|----------|----------|----------|---------------|----------|----------|----------|----|
|           | 開戦前    | 千九百十四年八月 | 千九百十五年一月 | 千九百十五年七月 | 開戦前           | 千九百十四年八月 | 千九百十五年一月 | 千九百十五年七月 |    |
|           | 四年八月   | 一月       | 七月       | 一月       | 八月            | 一月       | 七月       | 七月       |    |
| 食糧品製造業    | 三、五三〇  | 二、四三九    | 二、七九九    | 二、九九三    | 一〇〇           | 六九       | 七九       | 八五       | 九三 |
| 化學工業      | 一、四六五  | 八五七      | 一、一五二    | 一、二五八    | 一〇〇           | 五八       | 七九       | 八八       | 九〇 |
| 護膜及製紙業    | 七五六    | 三四一      | 五三四      | 六一八      | 一〇〇           | 四五       | 七一       | 八二       | 八六 |
| 出版印刷業     | 一、三二四  | 六八五      | 八八四      | 一、〇一九    | 一〇〇           | 五三       | 六八       | 七七       | 八三 |
| 紡績業       | 三、八六三  | 一、二六〇    | 二、七〇二    | 三、〇六六    | 一〇〇           | 五八       | 七〇       | 七九       | 八四 |
| 織物衣服製造業   | 八、八四一  | 五、〇八七    | 六、六二三    | 七、二六〇    | 一〇〇           | 五八       | 七五       | 八二       | 九三 |
| 皮革業       | 一、九〇一  | 一、一三三    | 一、五六五    | 一、六八九    | 一〇〇           | 五九       | 八二       | 八九       | 九三 |
| 木材業       | 四、八三〇  | 一、六一〇    | 二、五八〇    | 三、〇一五    | 一〇〇           | 三三       | 五三       | 六三       | 六八 |
| 冶金及一般金屬工業 | 七、六三四  | 三、一六八    | 五、一六一    | 五、八四二    | 一〇〇           | 四一       | 六八       | 七六       | 八三 |
| 緻密金屬及寶石業  | 五八七    | 四四       | 一六一      | 二〇四      | 一〇〇           | 八        | 二七       | 三五       | 四五 |
| 土木建築業     | 二、二四六  | 九七二      | 一、一〇〇    | 一、四一四    | 一〇〇           | 四一       | 四九       | 六三       | 六七 |
| 窯業        | 一、〇四四  | 三三一      | 四八七      | 六四九      | 一〇〇           | 三二       | 四七       | 六二       | 六三 |
| 運送業       | 三七三    | 二四八      | 二九二      | 二〇五      | 一〇〇           | 六六       | 七八       | 五五       | 九四 |
| 商業        | 八、五九二  | 七、三五七    | 七、四三三    | 七、七四四    | 一〇〇           | 八六       | 八六       | 九〇       | 九三 |
| 通計        | 四六、九七六 | 二五、五〇二   | 三三、四五二   | 三七、〇七六   | 一〇〇           | 五四       | 七一       | 七九       | 八五 |

備考 本表ハ佛國勞働監察局管轄重要工場約四萬七千二付統計セルモノニシテ鑛山、鐵道並陸海軍工場ハ本表外トス

附表第二(甲)

佛國重要工場四萬七千ニ付勞務者數變遷一覽表

| 工場種類別     | 工場勞務者數 (單位百) |          |          |          | 同上百分比 (開戦前ヲ百トス) |          |          |          |    |    |     |     |
|-----------|--------------|----------|----------|----------|-----------------|----------|----------|----------|----|----|-----|-----|
|           | 開戦前          | 千九百十四年八月 | 千九百十五年一月 | 千九百十五年七月 | 千九百十四年八月        | 千九百十五年一月 | 千九百十五年七月 | 千九百十六年一月 |    |    |     |     |
|           | 千九百十四年八月     | 千九百十五年一月 | 千九百十五年七月 | 千九百十六年一月 | 千九百十四年八月        | 千九百十五年一月 | 千九百十五年七月 | 千九百十六年一月 |    |    |     |     |
| 食糧品製造業    | 九三四          | 四一六      | 六三八      | 七二七      | 八〇〇             | 八一八      | 一〇〇      | 四四       | 六八 | 七八 | 八六  | 八八  |
| 化學工業      | 八五九          | 三六八      | 五七八      | 六七三      | 七七一             | 八一八      | 一〇〇      | 四三       | 六七 | 七八 | 九〇  | 九八  |
| 護謨及製紙業    | 五八六          | 二〇一      | 三一六      | 三七三      | 四二二             | 四四七      | 一〇〇      | 三四       | 五三 | 六四 | 七二  | 七六  |
| 出版印刷業     | 四四二          | 一六〇      | 一九八      | 二一八      | 二二二             | 二三七      | 一〇〇      | 三六       | 四五 | 四九 | 四九  | 五四  |
| 紡績業       | 三八六七         | 一、二二六    | 二、四〇八    | 二、七三五    | 二、九一〇           | 二、九三二    | 一〇〇      | 二九       | 六二 | 七三 | 七七  | 七八  |
| 織物被服製造業   | 一、四二六        | 四六二      | 八四四      | 一、〇〇二    | 一、〇六一           | 一、二二一    | 一〇〇      | 三三       | 五九 | 七〇 | 七四  | 七九  |
| 皮革工業      | 六〇五          | 二三三      | 三八六      | 四三八      | 四七三             | 五〇五      | 一〇〇      | 三九       | 六四 | 八二 | 八八  | 九四  |
| 木材業       | 九三六          | 一八九      | 三八一      | 四八一      | 五六〇             | 六二七      | 一〇〇      | 二〇       | 四一 | 五一 | 六〇  | 六七  |
| 冶金及一般金屬工業 | 三、九八八        | 一、二七二    | 二、四五七    | 三、三三五    | 四、三六六           | 五、〇〇〇    | 一〇〇      | 三二       | 六二 | 八四 | 一〇九 | 一二五 |
| 緻密金屬及寶石業  | 一〇〇          | 一五       | 三三       | 四二       | 五〇              | 五七       | 一〇〇      | 二五       | 三二 | 四二 | 五〇  | 五七  |
| 土木建築業     | 六六三          | 一四九      | 一七九      | 二五二      | 二八〇             | 三二三      | 一〇〇      | 二二       | 二七 | 三八 | 四二  | 四九  |
| 窯業        | 七五一          | 一三五      | 二四七      | 二九〇      | 三二九             | 二六三      | 一〇〇      | 一八       | 三三 | 三九 | 四四  | 四八  |
| 運送業       | 二九六          | 一四四      | 二〇一      | 二四五      | 二八二             | 二八三      | 一〇〇      | 四九       | 六八 | 八三 | 九五  | 九六  |
| 商業        | 九一八          | 四七三      | 五四一      | 五〇五      | 六一四             | 六四〇      | 一〇〇      | 五+       | 五九 | 六五 | 六七  | 七〇  |
| 通計        | 一六、三三二       | 五、三四四    | 九、四〇三    | 一一、四〇六   | 一二、四一四          | 一四、一七二   | 一〇〇      | 三三       | 五七 | 七〇 | 八〇  | 八七  |

備考

本表ハ佛國勞働監察局管轄重要工場約四萬七千ニ付統計セルモノニシテ嶺山、鐵道並陸海軍工場ハ本表外トス

附表第二(乙)

佛國兵器製造ニ従事スル勞務者増加景況一覽表

(開戦當初ニ對スル比)

| 考 備                      | 私營兵器工場   |        |       |       | 官有工場     |        |       |       | 區 分             |                 |
|--------------------------|----------|--------|-------|-------|----------|--------|-------|-------|-----------------|-----------------|
|                          | 「ツールーズ」區 | 「ナント」區 | 里 昂 區 | 巴 里 區 | 「ツールーズ」區 | 「ナント」區 | 里 昂 區 | 巴 里 區 |                 |                 |
|                          |          |        |       |       |          |        |       |       |                 | 兵 器 工 廠         |
| 千九百十六年十月ノ私營兵器工場數ハ九千二百二トス | 一〇〇      | 一〇〇    | 一〇〇   | 一〇〇   | 一〇〇      | 一〇〇    | 一〇〇   | 一〇〇   | 千九百十四年<br>八月二日調 |                 |
|                          | 一四〇      | 一六二    | 一四〇   | 一五二   | 三三四      | 二六二    | 八五〇   | 二二一   | 五〇〇             | 千九百十五年<br>七月十日調 |
|                          | 五〇〇      | 六七〇    | 四四〇   | 五二〇   | 一、一四〇    | 四四〇    | 一、九〇〇 | 三七〇   | 八〇〇             | 千九百十六年<br>三月十日調 |
|                          | 六七〇      | 一、六五〇  | 五八〇   | 六七〇   | 一、六一〇    | 五四〇    | 二、四四〇 | 五四〇   | 九六〇             | 十月一日調           |

佛國重要工場四萬七千二付勞務者應召率及增減率一覽表

| 工場種類別    | 開戦前  |       | 現在  |       | 千九百十四年 |       | 千九百十五年 |       | 千九百十六年 |       |
|----------|------|-------|-----|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|          | 應召率  | 增(減)  | 應召率 | 增(減)  | 應召率    | 增(減)  | 應召率    | 增(減)  | 應召率    | 增(減)  |
|          | 者率   | 率     | 者率  | 率     | 者率     | 率     | 者率     | 率     | 者率     | 率     |
| 食糧品製造業   | 一〇〇% | (三〇%) | 四四% | (六%)  | 六八%    | 四%    | 七八%    | 二%    | 八六%    | 一四%   |
| 化學工業     | 一〇〇% | (二七%) | 四三% | (六%)  | 六七%    | 五%    | 七八%    | 一七%   | 九〇%    | 二五%   |
| 護謨及製紙業   | 一〇〇% | (四七%) | 三四% | (二八%) | 五三%    | (二七%) | 六四%    | (九%)  | 七二%    | (五%)  |
| 出版印刷業    | 一〇〇% | (四〇%) | 三六% | (三二%) | 四五%    | (二七%) | 四九%    | (二六%) | 四八%    | (三二%) |
| 紡績業      | 一〇〇% | (一五%) | 二九% | (三三%) | 六二%    | (二二%) | 七三%    | (八%)  | 七七%    | (七%)  |
| 織物被服製造業  | 一〇〇% | (六二%) | 三二% | (三五%) | 五九%    | (二四%) | 七〇%    | (二〇%) | 七四%    | (二五%) |
| 皮革工業     | 一〇〇% | (二六%) | 三九% | (一〇%) | 六四%    | (三%)  | 八二%    | 四     | 八八%    | 一〇    |
| 木材業      | 一〇〇% | (五〇%) | 三〇% | (二九%) | 四一%    | (一九%) | 五一%    | (一〇%) | 六〇%    | (三)   |
| 冶金及一般金屬業 | 一〇〇% | (三六%) | 三二% | (六)   | 六二%    | 一六    | 八四%    | 四一    | 一〇九    | 五七    |
| 緻密金屬寶石業  | 一〇〇% | (六二%) | 一五% | (四四%) | 三三%    | (三五%) | 四二%    | (二七%) | 五〇%    | (二〇)  |
| 土木建築業    | 一〇〇% | (四五%) | 二二% | (四〇%) | 二七%    | (二九%) | 三八%    | (二五%) | 四二%    | (一八)  |
| 窯業       | 一〇〇% | (五四%) | 一八% | (三九%) | 三三%    | (三三%) | 三九%    | (三八%) | 四四%    | (二四)  |
| 運送業      | 一〇〇% | (一九%) | 四九% | 〇     | 六八%    | 一五    | 八三%    | 二七    | 九五     | 二六    |
| 商業       | 一〇〇% | (二四%) | 五一% | (二六%) | 五九%    | (一〇)  | 六五%    | (八)   | 六七%    | (五)   |
| 通計       | 一〇〇% | (四三%) | 三三% | (一九%) | 五七%    | (六)   | 七〇%    | 四     | 八〇%    | (二)   |

備考

- 一 本表ハ佛國勞働監察局管轄重要工場四萬七千二付統計セルモノニシテ鑛山、鐵道並陸海軍工場ハ本表外トス
- 二 勞務者増減ハ開戦前勞務者ヨリ應召者ヲ控除シタル殘留勞務者ニ就キ其ノ出(失職)入状態ヲ開戦前勞務者ニ對スル百分比ヲ以テ示シタルモノトス
- 三 應召者率ハ開戦當初ノ動員應召者トス

附表第四

佛國重要工場四萬七千ニ付開戦前ニ對スル千九百十六年七月ニ於ケル運轉工場及工場勞務者百分率比較表

| 工場種類別     | 運轉工場百分比 | 工場勞務者百分比 | 運轉工場數百分比ノ工場勞務者百分比ニ對スル大(小)比較 |
|-----------|---------|----------|-----------------------------|
| 食糧品製造業    | 九三      | 八八       | 五                           |
| 化學工業      | 九一      | 九八       | (七)                         |
| 護謨及製紙業    | 九一      | 七六       | 一五                          |
| 出版印刷業     | 八四      | 五四       | 三〇                          |
| 紡績業       | 八五      | 七八       | 七                           |
| 織物衣服製造業   | 九六      | 七九       | 一七                          |
| 皮革業       | 九六      | 九四       | 二                           |
| 木材業       | 七五      | 六七       | 八                           |
| 冶金及一般金屬工業 | 八六      | 二五       | (三九)                        |
| 緻密金屬及寶石業  | 五一      | 五七       | (六)                         |
| 土木建築業     | 七二      | 四九       | 二三                          |
| 窯業        | 七〇      | 四八       | 二三                          |
| 運送業       | 九七      | 九六       | 一                           |
| 商業        | 九七      | 七〇       | 二七                          |
| 通計        | 八八      | 八七       | 一                           |

甲 附表第五

巴里市失業救濟基金ニ依ル救濟失業者數一覽表

| 千九百十五年     |           | 千九百十六年     |           | 失業者數           | 千九百十六年<br>千九百十五年<br>同期ニ對スル<br>減少率(%) |
|------------|-----------|------------|-----------|----------------|--------------------------------------|
| 時<br>自     | 期<br>至    | 時<br>自     | 期<br>至    |                |                                      |
| 年<br>一、九一四 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 二二五、六九二        | 千九百十六年<br>千九百十五年<br>同期ニ對スル<br>減少率(%) |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九一五<br>一、九一六 | 六〇・五                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九一五<br>一、九一六 | 五一・八                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九一六<br>一、九一七 | 四九・八                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九一六<br>一、九一七 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九一七<br>一、九一八 | 四九・八                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九一七<br>一、九一八 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九一八<br>一、九一九 | 四九・八                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九一九<br>一、九二〇 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九二〇<br>一、九二一 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九二一<br>一、九二二 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九二二<br>一、九二三 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九二三<br>一、九二四 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九二四<br>一、九二五 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九二五<br>一、九二六 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九二六<br>一、九二七 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九二七<br>一、九二八 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九二八<br>一、九二九 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九二九<br>一、九三〇 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九三〇<br>一、九三一 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九三一<br>一、九三二 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九三二<br>一、九三三 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九三三<br>一、九三四 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九三四<br>一、九三五 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九三五<br>一、九三六 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九三六<br>一、九三七 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九三七<br>一、九三八 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九三八<br>一、九三九 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九三九<br>一、九四〇 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九四〇<br>一、九四一 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九四一<br>一、九四二 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九四二<br>一、九四三 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九四三<br>一、九四四 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九四四<br>一、九四五 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九四五<br>一、九四六 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九四六<br>一、九四七 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九四七<br>一、九四八 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九四八<br>一、九四九 | 五七・一                                 |
| 年<br>一、九一五 | 月<br>一、二二 | 年<br>一、九一六 | 月<br>一、二二 | 一、九四九<br>一、九五〇 | 五七・一                                 |
| 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 日<br>一、二二  | 日<br>一、二二 | 一、九五〇<br>一、九五〇 | 五七・一                                 |

乙

國民失業救濟基金ニ依ル巴里市救濟失業者數一覽表

| 期                         | 間 | 每十六日間平均救濟人員 |         |         |
|---------------------------|---|-------------|---------|---------|
|                           |   | 男           | 女       | 計       |
| 千九百十四年十二月二十八日—千九百十五年三月一日  |   | 九一、五〇四      | 一二七、三四六 | 二一八、八五〇 |
| 千九百十五年十二月三十一日—千九百十六年三月三日  |   | 一五、六四八      | 七二、六三七  | 八八、二八五  |
| 千九百十六年八月二十七日—千九百十六年十月二十九日 |   | 八、三四〇       | 三七、二〇一  | 四五、五四一  |
| 千九百十六年十月三十日—千九百十六年十二月三十一日 |   | 六、一〇八       | 三三、二八七  | 三八、三九五  |

巴里市失業救濟者男女職業別一覽表

| 職 業 別        | 自千九百十五年二月十五日 至同年同月三十日 |        | 自千九百十六年十二月十七日 至同年同月三十一日 |        |
|--------------|-----------------------|--------|-------------------------|--------|
|              | 男                     | 女      | 男                       | 女      |
|              | 子                     | 計      | 子                       | 計      |
| 食糧品製造業       | 三三八                   | 一〇一五   | 一三〇                     | 四五九    |
| 土木建築業        | 二四〇七                  | —      | 九一五                     | 三      |
| 紡績織物並被服製造業   | 一、二八三                 | 二七、七三六 | 四一六                     | 九、七四五  |
| 美術品寶石並玩具製造業  | 二、一〇九                 | 二、一七八  | 三三二                     | 九三五    |
| 出版印刷業        | 七四七                   | 二、三三四  | 二六五                     | 九五六    |
| 木材及家具製造業     | 一、三八四                 | 一、五九三  | 六〇五                     | 六二〇    |
| 化學工業窯業並硝子製造業 | 二二五                   | 四六〇    | 一一二                     | 二〇四    |
| 皮革並護膜製造業     | 二四三                   | 七四一    | 一一〇                     | 三三八    |
| 機械並電氣工業      | 四三七                   | 四六一    | 一三七                     | 一八五    |
| 冶金業          | 三二八                   | 四七一    | 七六                      | 一六一    |
| 商業銀行並官衙      | 三、七〇九                 | 七、三七〇  | 九八三                     | 二、六七三  |
| 自由職業         | 一、九七四                 | 五、一二一  | 五八六                     | 二、一八二  |
| 僕婢           | 一、六七四                 | 二四、四三〇 | 五九一                     | 一〇、一六一 |
| 雜            | —                     | 五      | —                       | —      |
| 合計           | 一五、八五八                | 七三、九一五 | 八九、七七三                  | 五、二五八  |
| 工業以外ノ職業      | 七、三五七                 | 三六、九二六 | 四四、二八二                  | 二、一六〇  |
| 合計ニ對スル同右百分比  | 四九                    | 五〇     | 五〇                      | 四一     |
|              |                       |        |                         | 五三     |
|              |                       |        |                         | 五一     |

佛國避難民一覽表

| 區分     | 國籍別 | 千九百十四年 |        | 千九百十五年 |        | 千九百十五年 | 末       | 千九百十六年 |   |         |        |
|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---|---------|--------|
|        |     | 現      | 在      | 現      | 在      |        |         |        |   |         |        |
| 被救濟避難民 | 佛   |        |        |        |        | 十六歲以上  | 現       | 五三〇〇〇〇 |   |         |        |
|        | 白   |        |        |        |        |        |         | 十六歲以下  | 計 | 一六〇〇〇〇〇 |        |
|        | 亞二州 |        |        |        |        |        |         |        |   | 現       | 七六三〇〇〇 |
|        | 塞耳比 |        |        |        |        |        |         |        |   |         | 二二〇〇〇  |
| 小計     |     |        |        |        | 九二九〇〇〇 |        |         |        |   |         |        |
| 自活避難民  |     |        |        |        |        |        | 二〇四九〇〇〇 |        |   |         |        |
| 總計     |     | 二五〇〇〇〇 | 一一五〇〇〇 |        |        |        |         |        |   |         |        |

附表第八

佛國戰時大學生數一覽表

| 校名         | 學生數    |        | 摘要             |
|------------|--------|--------|----------------|
|            | 千九百十四年 | 千九百十五年 |                |
| 「エイーマルセイユ」 | 一、三三六  | 六四〇    | 四七 文、科、法ノ三分科   |
| 「プザンソン」    | 二五七    | 一一五    | 四四 文、科ノ二分科     |
| 「ポルルド」     | 二、六五三  | 六二八    | 二三 文、科、法、醫ノ四分科 |
| 「モンペリーユ」   | 二、二一〇  | 六二〇    | 二九 文、科、法、醫ノ四分科 |
| 「クレールモン」   | 二四四    | 一〇九    | 四五 文、科ノ二分科     |
| 「カアア」      | 六一五    | 一〇二    | 一七 文、科、法ノ三分科   |
| 「ナンシ」      | 二、一四〇  | 三五六    | 一六 文、科、法、醫ノ四分科 |
| 「ポアチエ」     | 一、二四五  | 三二八    | 二六 文、科、法ノ三分科   |
| 計          | 一〇、四一〇 | 二、八八八  | 二八             |

千九百十四年ニ對スル千九百十五年ノ百分比

千九百十四年 千九百十五年 千九百十六年

佛國戰時大學生數一覽表

校名 學生數 摘要

「エイーマルセイユ」 一、三三六 六四〇 四七 文、科、法ノ三分科

「プザンソン」 二五七 一一五 四四 文、科ノ二分科

「ポルルド」 二、六五三 六二八 二三 文、科、法、醫ノ四分科

「モンペリーユ」 二、二一〇 六二〇 二九 文、科、法、醫ノ四分科

「クレールモン」 二四四 一〇九 四五 文、科ノ二分科

「カアア」 六一五 一〇二 一七 文、科、法ノ三分科

「ナンシ」 二、一四〇 三五六 一六 文、科、法、醫ノ四分科

「ポアチエ」 一、二四五 三二八 二六 文、科、法ノ三分科

計 一〇、四一〇 二、八八八 二八

附表第九

### 佛國戰時主要農產物收穫一覽表

(單位百萬「キントール」)

| 區分  | 年   |     | 額      |        | 比      |        | 分      |        |
|-----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|     | 平均  | 平均  | 千九百十四年 | 千九百十五年 | 千九百十六年 | 千九百十七年 | 千九百十四年 | 千九百十五年 |
| 小麥  | 八八  | 七七  | 五八     | 六二     | 七〇     | 八八     | 四四     | 六四     |
| 裸麥  | 一三  | 一一  | 八      | 八      | 六二     | 八五     | 五四     | 六一     |
| 大麥  | 一〇  | 一〇  | 九      | 八      | 七〇     | 一〇〇    | 九〇     | 八〇     |
| 燕麥  | 四九  | 四六  | 四〇     | 三五     | 九三     | 一〇〇    | 七二     | 八二     |
| 馬鈴薯 | 一三四 | 一二〇 | 八八     | 九四     | 九〇     | 一〇〇    | 九〇     | 六六     |
| 以上計 | 二九四 | 二六四 | 二〇〇    | 二〇五    | 九〇     | 一〇〇    | 六九     | 六八     |
| 葡萄酒 | 五三  | 五六  | 一八     | 一八     | 一〇六    | 一〇〇    | 六二     | 六二     |

附表第十

### 開戰後佛國牛馬數增減表

(單位千頭)

| 年次 | 馬       |         | 牛       |         | 牡        |         | 騾       |         | 驢        |          |
|----|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|----------|----------|
|    | 千九百十三年末 | 千九百十四年末 | 千九百十五年末 | 千九百十六年末 | 千九百十七年七月 | 千九百十四年末 | 千九百十五年末 | 千九百十六年末 | 千九百十七年七月 | 千九百十七年七月 |
| 馬  | 三,三三三   | 二,二〇五   | 二,二〇九   | 二,二四六   | 二,二八三    | 一四,七八八  | 一二,六六八  | 一一,三三二  | 一一,四四三   | 三六〇      |
| 牛  | 一四,七八八  | 一二,六六八  | 一二,五二〇  | 一一,三四二  | 一一,四四三   | 一九三     | 一五二     | 一四四     | 一六三      | 三三〇      |
| 牡  | 一九三     | 一五二     | 一四四     | 一六三     | 一六三      | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇      | 三三〇      |
| 騾  | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇      | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇      | 三三〇      |
| 驢  | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇      | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇     | 三三〇      | 三三〇      |

備考 本表牛馬數ハ民間保有數ヲ示ス

附表第十一

### 開戰時ニ於ケル佛國鐵道運轉材料一覽表

| 鐵道會社名                     | 開戰直前貨車數     |        | 開戰ト共ニ押收サレタル貨車 |        | 差引開戰直後國內殘存數 |        | 開戰ト共ニ自國ヨリ流入貨車 |         | 差引開戰直後佛國所有貨車 |         | 佛國貨車中改造修理ヲ要スルモノ |         | 差引開戰直後佛國使用可能數 |         | 千九百十六年末迄ニ外國ヘ注文ノ貨車ニシテ到着セル數 |  | 備考 |
|---------------------------|-------------|--------|---------------|--------|-------------|--------|---------------|---------|--------------|---------|-----------------|---------|---------------|---------|---------------------------|--|----|
|                           | 「ペー、エ、ル、エム」 | 北部     | 東部            | 國有     | 「オルレアン」     | 南部     | 計             | 計       | 計            | 計       | 計               | 計       | 計             | 計       | 計                         |  |    |
| 開戰直前貨車數                   | 一〇五,〇〇〇     | 七八,〇〇〇 | 六〇,〇〇〇        | 五七,〇〇〇 | 四六,〇〇〇      | 三〇,〇〇〇 | 三七五,〇〇〇       | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇      | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇         | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇       | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇                   | 機關車モ亦開戰後直ニ三百八十輛ヲ外國ニ注文セリ然レトモ開戰ニ伴ヒ白國ヨリ約一千二百輛ノ機 |    |
| 開戰ト共ニ押收サレタル貨車             | 七,〇三二       | 二四,三五九 | 一五,九〇五        | 三,四六七  | 一,七九一       | 三,〇七三  | 五四,六二七        | 三三五,〇三三 | 三三五,〇三三      | 三三五,〇三三 | 三三五,〇三三         | 三三五,〇三三 | 三三五,〇三三       | 三三五,〇三三 | 三三五,〇三三                   | 關車ノ流入ヲ見索引力ニ於テハ平時ニ比シ却テ有利ナル狀態ニ在リタリ             |    |
| 差引開戰直後國內殘存數               | 九七,九六八      | 五三,六四一 | 四四,〇九五        | 五三,五三三 | 四四,二〇九      | 二六,九二七 | 三二〇,三七三       | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇      | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇         | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇       | 一〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇                   |  |    |
| 開戰ト共ニ自國ヨリ流入貨車             |             |        |               |        |             |        |               |         |              |         |                 |         |               |         |                           |  |    |
| 差引開戰直後佛國所有貨車              |             |        |               |        |             |        |               |         |              |         |                 |         |               |         |                           |  |    |
| 佛國貨車中改造修理ヲ要スルモノ           |             |        |               |        |             |        |               |         |              |         |                 |         |               |         |                           |  |    |
| 差引開戰直後佛國使用可能數             |             |        |               |        |             |        |               |         |              |         |                 |         |               |         |                           |  |    |
| 千九百十六年末迄ニ外國ヘ注文ノ貨車ニシテ到着セル數 |             |        |               |        |             |        |               |         |              |         |                 |         |               |         |                           |  |    |

英本國戰時勞務資源分布狀態一覽表

大正八年八月一日調

| 分區役備 | 開戰前(千九百十四年七月)現在  |   | 休戰前(千九百十八年七月)現在 |         | 開戰前ニ對スル休戰前ノ増(減) |     |   |   |
|------|--|---|-----------------|---------|-----------------|-----|---|---|
|      | 男  | 女   | 男               | 女       | 男               | 女   |   |   |
|      | 計  | 百分比   | 計               | 百分比     | 計               | 百分比 |   |   |
| 職別   | 總計   |   | 1,234,567       | 100     | 1,234,567       | 100 | 0 | 0 |
|      | 農林   |   | 123,456         | 10      | 123,456         | 10  | 0 | 0 |
|      | 工業   |   | 234,567         | 19      | 234,567         | 19  | 0 | 0 |
|      | 商業   |   | 345,678         | 28      | 345,678         | 28  | 0 | 0 |
|      | 運輸   |   | 456,789         | 37      | 456,789         | 37  | 0 | 0 |
|      | 通信   |   | 567,890         | 46      | 567,890         | 46  | 0 | 0 |
|      | 教育   |   | 678,901         | 55      | 678,901         | 55  | 0 | 0 |
|      | 衛生   |   | 789,012         | 64      | 789,012         | 64  | 0 | 0 |
|      | 其他   |   | 890,123         | 72      | 890,123         | 72  | 0 | 0 |
|      | 總計   |   | 1,234,567       | 100     | 1,234,567       | 100 | 0 | 0 |
| 備    | 一 本表諸數値ハ主トシテ英國政府ノ調査ニ係ルモノヲ蒐録セルモノトス  |   |                 |         |                 |     |   |   |
|      | 二 休戰前ノ現在員中ニハ千九百十八年四月及休戰前ノ調査ニ係ルモノヲ含ム  |   |                 |         |                 |     |   |   |
|      | 三 休戰前ノ現在員ハ千九百十六年末日開ノモノヲ以テセリ是休戰前ノモノハ男子勞務者總數ニ於テ千九百十六年末ニ比シ更ニ約四萬人ヲ減シタルコトノ外不明ナル前者ト後 |   |                 |         |                 |     |   |   |
|      | 四 休戰前ニ於ケル英人船員男子數ハ約二十二萬四千三百ニシテ開戰前ニ於ケルモノ左ノ如シ                                     |   |                 |         |                 |     |   |   |
|      | 五 休戰前ニ於ケル英人船員男子數ハ約二十二萬四千三百ニシテ開戰前ニ於ケルモノ左ノ如シ                                     |   |                 |         |                 |     |   |   |
|      | 計  |   | 二七五,八九一         |         | 二七五,八九一         |     |   |   |
|      | 汽船船員   |   | 一六,一六六          |         | 一六,一六六          |     |   |   |
|      | 計  |   | 二九二,〇五七         |         | 二九二,〇五七         |     |   |   |
|      | 外國人  |   | 三三,六三九          |         | 三三,六三九          |     |   |   |
|      | 東印度水夫  |   | 四六,八四五          |         | 四六,八四五          |     |   |   |
| 英人   |  | 二二二,五七三   |                 | 二二二,五七三 |                 |     |   |   |
| 內譯   |  | 二二,〇〇〇  |                 | 二二,〇〇〇  |                 |     |   |   |
| 女子   |  | 一,六〇〇   |                 | 一,六〇〇   |                 |     |   |   |
| 考    |  | 六十歲以上ノ無職業者中ニハ學校通學者約三百二十三萬四千九百七十六萬七千人、女子百四十六萬六千人ヲ含ミ又六十五歲以上ノ老齡者ハ二百五十九萬人(内男子百十 |                 |         |                 |     |   |   |
|      |  | 二萬五千人)トス  |                 |         |                 |     |   |   |

開戦前英國人職業別一覽表

| 職業別       | 人員數(單位千人) |        | 百分比    |     | 職業別百分比  |        |
|-----------|-----------|--------|--------|-----|---------|--------|
|           | 男         | 女      | 男      | 女   | 有職業者ニ對シ | 總人口ニ對シ |
|           | 計         | 計      | 計      | 計   | 計       | 計      |
| 陸海軍在隊兵員   | 二四〇       | 一四五    | 三九五    | 二〇〇 | 三       | 一      |
| 官公史       | 六三三       | 二六二    | 八九四    | 七一  | 四       | 一      |
| 自由業       | 一三〇       | 五〇     | 一八〇    | 七二  | 一       | 〇      |
| 工業        | 五、〇六九     | 二、一七二  | 七、二四一  | 七〇  | 三       | 〇      |
| 鑛業        | 一、三三三     | 七      | 一、三三三  | 九九  | 八       | 〇      |
| 瓦斯電力供給業   | 五九        | 一      | 六〇     | 九九  | 〇       | 〇      |
| 運輸交通業     | 一、一〇三     | 二〇     | 一、一二三  | 九九  | 〇       | 〇      |
| 商業        | 一、三九五     | 五〇六    | 一、九〇〇  | 七三  | 九       | 〇      |
| 旅館演藝場     | 一九六       | 一八一    | 三七七    | 五二  | 一       | 〇      |
| 農業        | 一、二六六     | 一九〇    | 一、四五六  | 八七  | 九       | 〇      |
| 家事業       | 四四八       | 一、六五八  | 二、一〇六  | 二二  | 三       | 二      |
| 雜業        | 二、八〇三     | 五〇四    | 三、三〇七  | 八五  | 二       | 一      |
| 自己營業者     |           | 四三〇    |        |     | 三       | 二      |
| 無職者       |           |        |        |     |         |        |
| 十歲以上六十歲以下 | 一、二二五     | 一、四六五  | 二、五九〇  | 四三  | 八       | 五      |
| 六十歲以上     | 一、七六七     | 一、四六六  | 三、二三三  | 五五  | 一〇      | 六      |
| 學校通學者     | 四二九       | 一、〇〇一  | 一、四三〇  | 四   | 七〇      | 四      |
| 其他        | 四、七六四     | 四、八〇九  | 九、五七三  | 五〇  | 三       | 二      |
| 十歲以下      |           |        |        |     |         |        |
| 總計        | 二二、六九二    | 二二、七二一 | 四六、四一三 | 四九  | 七       | 二      |
| 內有職業者計    | 一四、六〇七    | 五、九六六  | 二〇、五七三 | 七一  | 二       | 二      |

考 備

一 本表數値ノ詳細ハ附表第十二ノ如シ

二 生産年齢者(十五歳以上六十歳以下)ハ男子約千三百五十六萬人、女子約千四百二十三萬人計約二千七百七十九萬人トス

三 有職業者ハ十歳以上ノ者ニ就キ統計セルモノトス

四 六十歳以上ノ者ニシテ有職業者アルモ之ヲ全部無職業者トシテ、是及學校通學者トシテ十歳以上ノ無職業者ヨリ控除シタル者ヲ其ノ他トシテ計上セリ

五 百分比小數以下ハ略近値トス

六 有職業者男子數ノ生産年齢者男子數ヨリ多キハ有職業者中ニハ十五歳未滿ノ者及六十歳以上ノ者ヲ含ムニ依ル

千九百〇九年末現在英國各種勞動組合員職業別一覽表

| 職別             | 組合員       | 總計 |    |
|----------------|-----------|----|----|
|                |           | 總計 | 其他 |
| 農、漁業           | 七、一六四     |    |    |
| 鑛業             | 七〇〇、八二七   |    |    |
| 採石業            | 五〇、二二四    |    |    |
| 金屬加工業、機械工業、造船業 | 三五七、一一二   |    |    |
| 機械工業           | 九、三七八     |    |    |
| 化學工業、瓦斯業、窯業    | 一七、四三〇    |    |    |
| 印刷及製紙業         | 七〇、九九九    |    |    |
| 紡織業            | 三六四、八三二   |    |    |
| 裁縫業            | 二一、六二六    |    |    |
| 其他被服業          | 一〇、〇四〇    |    |    |
| 皮革業            | 五、二八五     |    |    |
| 製靴業            | 三四、七六四    |    |    |
| 木材加工業          | 三九、〇七五    |    |    |
| 食糧品及煙草業        | 一八、一七一    |    |    |
| 編物細工業          | 四、七七七     |    |    |
| 其他製造工業         | 三四、四二二    |    |    |
| 官營業從業員         | 七四、九四〇    |    |    |
| 建築業            | 一一、八九四    |    |    |
| 日傭人夫           | 一五、一三三    |    |    |
| 其他             | 一一、一三〇    |    |    |
| 鐵道             | 九八、四八二    |    |    |
| 其他             | 五三、三〇二    |    |    |
| 商業使用人          | 一八、五一〇    |    |    |
| 市ノ労働人夫         | 一一〇、九五六   |    |    |
| 雜役人夫           | 二、三四七、四六一 |    |    |
| 總計             |           | 五  |    |

附表第十五

千九百〇七年獨國有職業者年齡別一覽表

| 備考                                   | 合計    |        | 官公吏、自由業 |     | 家事業   |     | 商及交通業 |       | 工礦業   |       | 農、漁業  |       | 職業別      |       |
|--------------------------------------|-------|--------|---------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
|                                      | 女     | 男      | 女       | 男   | 女     | 男   | 女     | 男     | 女     | 男     | 女     | 男     | 別        | 現     |
|                                      | 計     |        | 計       |     | 計     |     | 計     |       | 計     |       | 計     |       | 別        | 現     |
| 本表數値ノ出所ハ附表第一ノモノト異ルヲ以テ若干附表第一ノ數値ト異ル所アリ | 二、五八九 | 三、二〇一  | 二八      | 六六  | 六五四   | 九   | 一九七   | 三〇九   | 六二五   | 一、七四九 | 一、〇八五 | 一、〇六八 | 自二十歲至三十歲 | 九六五   |
|                                      | 二、六二三 | 四、三五〇  | 一〇三     | 一八〇 | 五二九   | 一五  | 二七一   | 六二九   | 六七七   | 二、五六一 | 一、〇四四 | 九六五   | 自三十歲至五十歲 | 一、八五八 |
|                                      | 二、六六七 | 七、〇八三  | 一一三     | 三八六 | 二二六   | 二〇  | 二九五   | 一、八三三 | 五六六   | 三、六三六 | 一、四六七 | 七五六   | 自五十歲至六十歲 | 七五六   |
|                                      | 九一四   | 一、九四一  | 二七      | 一〇二 | 六九    | 五   | 一〇〇   | 二七九   | 一五一   | 七九九   | 五六六   | 六三七   | 六十歲以上    | 五、二八四 |
|                                      | 六二七   | 一、二五七  | 一七      | 六四  | 五〇    | 四   | 七〇    | 一四六   | 八六    | 四〇六   | 四〇四   | 五、二八四 | 計        | 二、一〇五 |
|                                      | 九、四二〇 | 一七、八三三 | 二八七     | 七九八 | 一、五二八 | 五三  | 九三三   | 二、五四六 | 二、一〇五 | 九、一五一 | 四、五六七 | 二〇二   | 自二十歲至三十歲 | 一八四   |
|                                      | 二七五   | 一、八〇   | 九八      | 八三  | 四二八   | 一七〇 | 二二一   | 一、二二二 | 二九七   | 一九二   | 二三八   | 一八四   | 自三十歲至五十歲 | 三、五二  |
|                                      | 二七八   | 二、四〇四  | 三五五     | 二二五 | 三四六   | 二八三 | 二九二   | 二四七   | 三三二   | 二八二   | 二二九   | 三、五二  | 自五十歲至六十歲 | 一四三   |
|                                      | 二八三   | 三、九七   | 三九四     | 四八四 | 一四八   | 三七八 | 三一六   | 四六五   | 二六九   | 三九七   | 三三二   | 一四三   | 六十歲以上    | 二二〇   |
|                                      | 九七    | 一〇九    | 九四      | 二二八 | 四、五   | 九四  | 一〇七   | 一〇九   | 七二    | 八七    | 一二四   | 八八    |          |       |
| 六七                                   | 七〇    | 五九     | 八〇      | 三三  | 七五    | 七五  | 五七    | 四一    | 四四    |       |       |       |          |       |

英國各種工業勞務者開戰影響一覽表

| 職 業 別       | 千九百十四年十二月 (百分比) |        |        | 千九百十五年一月 (百分比) |        |        |
|-------------|-----------------|--------|--------|----------------|--------|--------|
|             | 被召集者            | 失(就)職者 | 差引減(増) | 被召集者           | 失(就)職者 | 差引減(増) |
| 造 船 業       | 一三・六            | (七・六)  | 六・〇    | 一三・九           | (一一・五) | 二・四    |
| 製 鐵 業       | 一三・九            | (六・四)  | 七・五    | 一六・一           | (一〇・四) | 五・七    |
| 葉 鐵 製 造 業   | 八・三             | 三・二    | 一・五    | 一一・〇           | 三・二    | 一四・二   |
| 器 械 製 造 業   | 一四・六            | (五・九)  | 八・七    | 一六・二           | (七・〇)  | 九・二    |
| 車 輛 業       | 一四・三            | 三・二    | 一七・五   | 一六・九           | 〇・九    | 一七・八   |
| 化 學 工 業     | 一五・四            | (一一・二) | 三・三    | 一七・四           | (一八・六) | (一一・二) |
| 陶磁器及硝子工業    | 一三・三            | (三・二)  | 一・二    | 一五・五           | 〇・八    | 一六・三   |
| 煉瓦「セメント」類業  | 一三・五            | 六・七    | 二・〇    | 一五・六           | 一一・六   | 二七・二   |
| 皮 革 工 業     | 一四・二            | (一三・三) | 一・〇    | 一六・〇           | (一八・五) | 二・五    |
| 製 靴 業       | 九・九             | (六・六)  | 三・三    | 一〇・九           | (九・八)  | 一一・一   |
| 製 本 及 印 刷 業 | 一三・五            | (〇・三)  | 一三・二   | 一四・四           | (〇・三)  | 一四・一   |
| 毛 工 業       | 七・二             | (七・九)  | (〇・七)  | 九・〇            | (九・三)  | 〇・三    |
| 棉 工 業       | 九・六             | 三・七    | 一三・三   | 一一・六           | (〇・五)  | 一一・一   |
| 麻 工 業       | 一五・〇            | (六・八)  | 八・二    | 一七・一           | (五・〇)  | 一一・一   |
| 莫 大 小 業     | 七・五             | (六・八)  | 〇・七    | 一三・三           | (九・六)  | 二・七    |
| 裁 縫 業       | 一三・五            | 一・六    | 一四・一   | 一四・〇           | (〇・三)  | 一三・七   |
| 挽 材 業       | 一四・二            | (八・〇)  | 六・二    | 一六・一           | 四・一    | 一一・〇   |
| 建 築 業       | 一一・二            | 九・三    | 二・五    | 一四・七           | 八・二    | 二二・九   |
| 家 具 裝 飾 具 業 | 一三・五            | 六・八    | 二・〇    | 一五・三           | 八・二    | 二二・五   |
| 食 糧 品 業     | 一三・四            | (七・八)  | 五・六    | 一六・一           | 七・五    | 八・六    |
| 平 均         | 一一・〇            | (二・四)  | 九・六    | 一四・六           | (三・九)  | 一〇・七   |

考 備

一 本表百分比ハ開戦前即チ千九百十四年七月ニ於ケル現在總勞務者(男女計)ニ對スル百分比ヲ示スモノトス  
 二 本表ハ二萬四千ノ工業會社(其ノ勞務者約四百萬人)ヨリノ報告ヲ基礎トシテ集計セルモノトス  
 三 千九百十五年二月ニ於ケル全工業ニ對スルモノ次ノ如シ  
 被召集者 一五・四%  
 就職者 三・三%  
 差引減員 一一・一%



附表第十八

英國各種職業被備役男子中被召集者ト自二十歳ノ者トノ比率推定比較表

| 職業別              | 開戦前總男子數ニ對スル二十歳ノ男子ノ百分比 | 開戦前總男子數ニ對スル戰時中被召集者ノ百分比 | 開戦前總男子數ニ對スル二十歳ノ男子ノ百分比 | 二十歳ノ男子數ニ對スル戰前ノ百分比 |
|------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-------------------|
| 工業               | 六七・八                  | 四七・四                   | 二〇・四                  | 三〇・二              |
| 鐵業               | 六三・五                  | 三三・三                   | 三二・五                  | 四八・〇              |
| 水務               | 五三・五                  | 三四・〇                   | 一九・五                  | 三六・四              |
| 運輸               | 七〇・二                  | 三九・二                   | 三一・二                  | 四四・二              |
| 金融銀行及商業          | 七〇・二                  | 六三・二                   | 七〇                    | 一〇                |
| 旅館演劇場            | 六六・二                  | 六四・七                   | 一・四                   | 二・二               |
| 郵便電信電話局及中央政府管下官署 | 七〇・九                  | 四二・六                   | 二八・三                  | 三九・〇              |
| 地方廳管下官公署         | 七〇・九                  | 三四・七                   | 三六・二                  | 五一・〇              |
| 自由業              | 七〇・九                  | 六一・六                   | 九三                    | 一三・〇              |

備考

- 一 開戦前總男子數ニ對スル二十歳ノ男子ノ百分比ハ附表第十五ニ示ス獨逸ノモノヲ使用セリ
- 二 開戦前ノ總男子數ニ對スル戰時中被召集者ノ百分比ハ附表第十七ニ示スモノヲ其ノ儘使用セリ
- 三 年齢別ヲ二十歳トセルハ附表第十五ノ統計ヲ其ノ儘使用シ得ル便宜ニ依ルモノニシテ且之ニ依ルモ徵兵年齢者ニ對スル概略ノ標準ト爲シ得ヘキヲ以テナリ

英本國戰時女子勞力資源分布狀態一覽表

| 分區       | 職別  | 七千九百十四年現在 |         | 開戰前ニ對スル増(減)人員 |         |         |         |         |         | 開戰前ノ現在員ニ對スル同上ノ百分比 |         |         |         |         |         | 直接男子ヲ代位シタル女子數 |         |         |         | 職上ノ外純然タル女子(減) |         |         |         |
|----------|-----|-----------|---------|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------------|---------|---------|---------|---------------|---------|---------|---------|
|          |     | 人         | 比       | 千九百十六年        |         | 千九百十七年  |         | 千九百十八年  |         | 千九百十六年            |         | 千九百十七年  |         | 千九百十八年  |         | 千九百十七年        |         | 千九百十八年  |         |               |         |         |         |
|          |     | 四         | 七       | 四             | 七       | 四       | 七       | 四       | 七       | 四                 | 七       | 四       | 七       | 四       | 七       | 四             | 七       | 四       | 七       |               |         |         |         |
| 被備       | 工業  | 金屬工業      | 170'000 | 六             | 170'000 |         | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000           | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000       | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000       |         |         |         |
|          |     | 化學工業      | 80'000  | 二〇            | 80'000  |         | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000            | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  |         |         |
|          |     | 紡織工業      | 215'000 | 五八            |         |         |         |         |         |                   |         |         |         |         |         |               |         |         |         |               |         | 10'000  |         |
|          |     | 毛織工業      | 130'000 | 三三            |         |         |         |         |         |                   |         |         |         |         |         |               |         |         |         |               |         |         |         |
|          |     | 其他        | 130'000 | 三三            |         |         |         |         |         |                   |         |         |         |         |         |               |         |         |         |               |         |         |         |
|          |     | 計         | 525'000 | 一〇〇           | 170'000 |         | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000           | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000       | 170'000 | 170'000 | 170'000 | 170'000       | 170'000 | 170'000 |         |
|          |     | 營業        | 食品及飲料業  | 125'000       | 二五      | 125'000 |         | 125'000 | 125'000 | 125'000           | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000       | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000       | 125'000 | 125'000 | 125'000 |
|          |     |           | 製紙及印刷業  | 125'000       | 二五      | 125'000 |         | 125'000 | 125'000 | 125'000           | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000       | 125'000 | 125'000 | 125'000 | 125'000       | 125'000 | 125'000 | 125'000 |
|          |     |           | 木材工業    | 80'000        | 一六      | 80'000  |         | 80'000  | 80'000  | 80'000            | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  |
|          |     |           | 皮革工業    | 80'000        | 一六      | 80'000  |         | 80'000  | 80'000  | 80'000            | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  |
|          | 建築業 |           | 80'000  | 一六            | 80'000  |         | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000            | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  |         |
|          | 其他  |           | 80'000  | 一六            | 80'000  |         | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000            | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  | 80'000        | 80'000  | 80'000  | 80'000  |
|          | 計   |           | 525'000 | 一〇〇           | 525'000 |         | 525'000 | 525'000 | 525'000 | 525'000           | 525'000 | 525'000 | 525'000 | 525'000 | 525'000 | 525'000       | 525'000 | 525'000 | 525'000 | 525'000       | 525'000 | 525'000 |         |
|          | 役者  |           | 採石業     | 10'000        | 二       | 10'000  |         | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  |
|          |     |           | 山業      | 10'000        | 二       | 10'000  |         | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  |
|          |     |           | 鐵道業     | 10'000        | 二       | 10'000  |         | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  |
|          |     | 其他        | 10'000  | 二             | 10'000  |         | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  |
|          |     | 計         | 40'000  | 八             | 40'000  |         | 40'000  | 40'000  | 40'000  | 40'000            | 40'000  | 40'000  | 40'000  | 40'000  | 40'000  | 40'000        | 40'000  | 40'000  | 40'000  | 40'000        | 40'000  | 40'000  |         |
|          |     | 銀行業       | 10'000  | 二             | 10'000  |         | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  |
|          |     | 旅館業       | 10'000  | 二             | 10'000  |         | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  |
| 郵便電信局    |     | 10'000    | 二       | 10'000        |         | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  |         |
| 中央政府管下官署 |     | 10'000    | 二       | 10'000        |         | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  |         |
| 地方官署管下公署 |     | 10'000    | 二       | 10'000        |         | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000            | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  | 10'000  | 10'000  | 10'000        | 10'000  |         |         |

一 本表諸數値は主として英國政府ノ調査ニ係ルモノヲ基ニシテ算出セルモノトス  
 二 千九百十八年七月ニ係ル數値中ニハ同年四月及休戰直前ノ調査ニ係ルモノヨリ推定セルモノトス  
 三 直接男子ヲ代位シタル女子トシテ戰前男子ノ從事セル職業位位ニ於テ業シタル者ヲ示ス



附表第二十乙

機械工業ノ一部ニ付最適當ナル男女工及熟練職工割合一覽表

| 業別                | 非熟練職工 (百分比) |      | 熟練職工 (百分比) |      | 總計  |
|-------------------|-------------|------|------------|------|-----|
|                   | 男工          | 女工   | 男工         | 女工   |     |
| 天 秤               | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 晴 雨 計             | 二五          | 五〇   | 七五         | 二五   | 一〇〇 |
| 自 記 氣 壓 計         | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 寫 真 用             | 「カメラ」       | 二〇   | 二〇         | 五〇   | 一〇〇 |
|                   | 機械「シャッター」   | 二五   | 五〇         | 七五   | 一〇〇 |
| 時 計               | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 懷 中 時 計           | 二〇          | 四五   | 六五         | 三五   | 一〇〇 |
| 計 算 器             | 計算機械        |      |            |      |     |
|                   | 自動表價器       | 三三   | 三三         | 六六   | 三三  |
|                   | 「タキシメーター」   |      |            |      |     |
|                   | 驗壓器及真空計     |      |            |      |     |
| 潛 水 機 關           | 一           | 一    | 一〇〇        | 一〇〇  | 一〇〇 |
| 製 圖 器 具           | 一五          | 六〇   | 七五         | 二五   | 一〇〇 |
| 「マイクローメーター」       | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 計 測 機 械           | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 鋼 製 尺             | 三〇          | 六〇   | 九〇         | 一〇   | 一〇〇 |
| 計 算 尺             | ? 二五        | ? 三三 | 五八         | ? 三三 | 九一  |
| 物 理 學 的 器 具       | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 光學的器具、眼鏡及眼科用「レンズ」 |             |      |            |      |     |
| 「レンズ」(單純無色)       |             |      |            |      |     |
| 寫 真 用「レンズ」        | 三〇          | 五〇   | 八〇         | 二〇   | 一〇〇 |
| 顯 微 鏡 用 接 物 鏡     |             |      |            |      |     |
| 望遠鏡「オペラグラス」、雙眼鏡   | 二〇          | 六〇   | 八〇         | 二〇   | 一〇〇 |
| 顯 微 鏡             | 三三          | 三三   | 六六         | 三三   | 一〇〇 |
| 檢糖器屈折率計器          |             |      |            |      |     |
| 眼 科 用 器 械         | 二五          | 五〇   | 七五         | 二五   | 一〇〇 |
| 氣 泡 水 準 器         | ? 二〇        | ? 五〇 | 七〇         | ? 二〇 | 一〇〇 |

備考 本表ハ英國機械工業調査委員會ノ報告ニ係ルモノトス

附表第二十一

戰時英國幼年勞務者各種統計值一覽表

| 事項                           | 自千九百十四年七月<br>至千九百十七年十月 |          | 間ニ増加シタル幼年勞務者數 | 千九百十五年 | 千九百十七年                       | 要 |
|------------------------------|------------------------|----------|---------------|--------|------------------------------|---|
|                              | 男                      | 女        |               |        |                              |   |
| 學校時間外有給勞務生徒數                 | 三五一,〇〇〇                | 六九五,五五五  | 六九五,五五五       | 七三,五九六 | 多クノ學校ニ於テハ特ニ時間外勞務者ノ爲教育時間ヲ中減セリ |   |
| 戰時勞働服務ノ爲十四歳未満ノ學齡兒童ニシテ中途退學許可者 | 九〇,〇〇〇                 | 一四,九一五   | 一四,九一五        |        |                              |   |
| 農業補助ノ爲學校缺席許可者                | 一四,九一五                 | 五六四      | 五六四           | 十五年    | 八七五                          |   |
| 「パーミンガム」                     |                        | 一,八〇六    | 一,八〇六         | 十五年    | 一,四三九                        |   |
| 「リバープール」                     |                        | 二,五三四    | 二,五三四         | 十五年    | 一,六一七                        |   |
| 「シェフィールド」                    |                        | (三三,〇〇〇) | (三三,〇〇〇)      | 十七年    | 四,一五八                        |   |
| 建築業、製紙及印刷業、紡織業               |                        | 一一三,〇〇〇  | 一一三,〇〇〇       | 內      | 五二,〇〇〇                       |   |
| 金屬及化學工業                      |                        | 一一九,五〇〇  | 一一九,五〇〇       | 女      | 六二,〇〇〇                       |   |
| 銀行金融業及商業                     |                        |          |               |        |                              |   |

附表第二十二

英國戰時鑛山採石業從業者一覽表

| 業別  | 千九百十四年(採石業)現在 |           | 千九百十六年末   |           | 戰前ニ對スル百分比 |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|     | 男             | 女         | 男         | 女         |           |
|     | 計             | 計         | 計         | 計         |           |
| 鑛山業 | 地下            | 九二九,八〇七   | 九二九,八〇七   | 八〇四,七六九   | 八七        |
|     | 地上            | 二二〇,九二四   | 二二七,六四八   | 二二二,七四九   | 九二        |
| 採石業 | 内部            | 一,一五〇,七三一 | 一,一五七,四五五 | 一,〇〇七,五七一 | 八八        |
|     | 外部            | 五二,二六六    | 五一,二六六    | 三〇,七六七    | 五九        |
| 總計  | 八〇,八九〇        | 八〇,九〇九    | 四七,九八三    | 二二三       | 八六        |
| 備考  | 石炭            | 九八四,七九六   | 一〇,五五五    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 鐵鑛            | 一八,四三二    | 一〇,六五七    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 粘土及煉瓦土        | 七,九四八     | 一〇,六五七    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 火成岩           | 一〇,八二六    | 一〇,六五七    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 鉛鑛及亞鉛鑛        | 二,五〇八     | 一〇,六五七    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 石灰            | 一三,五二七    | 一〇,六五七    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 石油            | 九八四,七九六   | 一〇,五五五    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 砂             | 一八,四三二    | 一〇,五五五    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 石盤            | 七,九四八     | 一〇,五五五    | 一〇,六五七    | 八六        |
|     | 其他            | 一〇,八二六    | 一〇,五五五    | 一〇,六五七    | 八六        |

英國鑛山及採石業主要産額一覽表

| 考 備 | 合 計     | 採 石 業 産 額 |       |        |       |      |       |      |        |      |         |    | 鑛 山 業 産 額 |         |    |         |    |     |     |     |       |       |     | 種 別 | 生 産 額 (單位 千 噸) |           |           |           |         | 千九百十三年ニ對スル生産百分比 |        |        |        |     |     |     |     |
|-----|---------|-----------|-------|--------|-------|------|-------|------|--------|------|---------|----|-----------|---------|----|---------|----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|----------------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------------|--------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|
|     |         | 計         | 礬石    | 砂石     | 石灰石   | 火成岩  | 石膏    | 結砂及砂 | 螢石     | 粘礬石  | 黑硅石、燧石等 | 灰土 | 鐵礬土       | 明礬岩     | 計  | 「パリュウム」 | 砒素 | 銅鑛  | 鉛鑛  | 滿儼鑛 | 酸化鑛物  | 礦石頁岩  | 鹽   |     | 硫化「ストロムゲニウム」   | 錫鑛        | 亞鉛鑛       | 石炭        | 鐵鑛      | 千九百十三年          | 千九百十四年 | 千九百十五年 | 千九百十六年 | 十三年 | 十四年 | 十五年 | 十六年 |
|     |         |           |       |        |       |      |       |      |        |      |         |    |           |         |    |         |    |     |     |     |       |       |     |     |                |           |           |           |         | 千九百十三年          | 千九百十四年 | 千九百十五年 | 千九百十六年 | 十三年 | 十四年 | 十五年 | 十六年 |
|     | 三五四、八八二 | 四五、七七三    | 三、九七七 | 一一、七四〇 | 七、〇九八 | 二、八五 | 二、四〇九 | 五、四  | 一三、八九二 | 七、五  | 四、八五八   | 六  | 九         | 三〇九、一〇九 | 五〇 | 二       | 三  | 二、四 | 五   | 一、五 | 三、二八〇 | 二、二四八 | 一、八 | 八   | 一、七            | 一、六〇〇九    | 一、四、八八八   | 一、四、二三五   | 一、三、四九五 | 一〇〇             | 九三     | 八一     | 八二     | 八四  |     |     |     |
|     | 三三九、三六六 | 四三、三二八    | 三、四六四 | 一一、一五八 | 七、一三五 | 二、六五 | 二、四九九 | 三、四  | 一三、二二四 | 七、六  | 四、二九一   | 八  | 六         | 二八六、〇三八 | 四九 | 二       | 二  | 二、六 | 三   | 一、四 | 三、二六九 | 二、〇七〇 | 一、八 | 八   | 一、五            | 二、六五、六六四  | 二、五三、二〇六  | 二、五、六、三七五 | 一〇〇     | 九三              | 八一     | 八二     | 八四     |     |     |     |     |
|     | 三〇七、三三二 | 三四、八〇六    | 二、五二一 | 一一、一一六 | 六、〇八五 | 二、四七 | 二、三五〇 | 三、三  | 八、八七二  | 一〇、三 | 三、一三三   | 一一 | 八         | 二七二、五六六 | 六二 | 二       | 一  | 二、二 | 五   | 九   | 二、九九九 | 二、〇〇六 | 〇   | 八   | 一一             | 二、五三、二〇六  | 二、五、六、三七五 | 一〇〇       | 九三      | 八一              | 八二     | 八四     |        |     |     |     |     |
|     | 三〇四、〇六三 | 二九、〇九〇    | 一、九九〇 | 一〇、五四一 | 四、八四三 | 二、一九 | 一、九六二 | 五、五  | 六、五〇〇  | 五、一  | 二、七八六   | 一〇 | 六         | 二七四、九七三 | 八〇 | 二       | 一  | 一、七 | 一、五 | 一、〇 | 三、〇〇九 | 一、九六〇 | 三   | 八   | 八              | 二、五、六、三七五 | 二、五、六、三七五 | 一〇〇       | 九三      | 八一              | 八二     | 八四     |        |     |     |     |     |
|     | 一〇〇     | 一〇〇       |       |        |       |      |       |      |        |      |         |    |           | 一〇〇     |    |         |    |     |     |     |       |       |     |     |                | 一〇〇       | 九三        | 八一        | 八二      | 八四              |        |        |        |     |     |     |     |
|     | 九三      | 九五        |       |        |       |      |       |      |        |      |         |    |           | 九二      |    |         |    |     |     |     |       |       |     |     |                | 九三        | 八一        | 八二        | 八四      |                 |        |        |        |     |     |     |     |
|     | 八六      | 七六        |       |        |       |      |       |      |        |      |         |    |           | 八八      |    |         |    |     |     |     |       |       |     |     |                | 八一        | 八二        | 八四        |         |                 |        |        |        |     |     |     |     |
|     | 八六      | 六三        |       |        |       |      |       |      |        |      |         |    |           | 八九      |    |         |    |     |     |     |       |       |     |     |                | 八二        | 八四        |           |         |                 |        |        |        |     |     |     |     |

一 本表鑛山業又ハ採石業ニ關スル品目區分ハ多少誤ナキヲ保セス  
 二 本表ニ掲クル品目數量ハ年産額千噸以上ノモノニ付集計セルモノトス  
 三 千九百十七年ニ於ケル石炭産出額ハ二億四千八百四十七萬三千噸ニシテ前年ニ比シ約三分ヲ減少セリ

附表第二十四

英國戰時農業勞務者變遷一覽表

| 備考  | 千九百十八年七月現在 | 千九百十六年 |       |        |        | 千九百十四年七月現在 |        |        |        | 區分      |
|---|------------|--------|-------|--------|--------|------------|--------|--------|--------|---------|
|   |            | 出征者    |       | 殘留者    |        | 出征者        |        | 殘留者    |        |         |
|   |            | 人員     | 百分比   | 人員     | 百分比    | 人員         | 百分比    | 人員     | 百分比    |         |
| 一 本表百分比ハ開戦前現在人員ニ對スルモノトス<br>二 千九百十六年末全農業勞務者中出征者百分比ハ五三・七%トス | 人員         | 五九六〇〇〇 | 九〇    | 四一七〇〇〇 | 三三〇〇〇〇 | 一〇〇        | 二五七〇〇〇 | 二八六〇〇〇 | 五七六〇〇〇 | 永久勞務者   |
|   | 百分比        | 七五〇    | 五〇    | 四〇     | 四九五    | 六〇〇        | 四〇九〇〇〇 | 三八四〇〇〇 | 二六〇〇〇〇 | 女子計     |
|   | 人員         | 六九五〇〇〇 | 八九〇〇〇 | 一三五〇   | 一〇〇〇〇〇 |            |        |        | 八〇〇〇〇〇 | 臨時勞務者   |
|   | 百分比        | 六六〇    | 一一〇   | 二五〇    | 一〇〇    |            |        |        | 三三〇〇〇  | 男子計     |
|   | 人員         | 一三九〇〇〇 | 三九〇   | 一〇〇    | 一七〇〇〇  |            |        |        | 一一七〇〇〇 | 補助臨時勞務者 |
|   | 百分比        | 一一〇    | 三〇    | 一〇     | 六〇     |            |        |        | 二六〇〇〇  | 女子計     |
|   | 人員         | 二一六〇   |       |        |        |            |        |        | 一一〇〇〇  | 合計      |
|   | 百分比        | 一六〇    |       |        |        |            |        |        | 五五〇〇〇〇 |         |

附表第二十五

英國戰時農業用動物一覽表

(單位千頭)

| 區分         | 總數     |        |        |        |        | 千九百十三年ニ對スル百分比 |        |        |        |        |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|
|            | 千九百十三年 | 千九百十四年 | 千九百十五年 | 千九百十六年 | 千九百十七年 | 千九百十三年        | 千九百十四年 | 千九百十五年 | 千九百十六年 | 千九百十七年 |
| 本國內        | 一八七四   | 一八五二   | 一七二二   | 一八三四   | 一八七一   | 一〇〇           | 九一     | 九〇     | 九一     | 一〇〇    |
| 愛蘭         | 六二九    |        |        |        | 五九八    | 一〇〇           |        |        |        | 九七     |
| 馬          | 三三一    |        |        |        | 二二五    | 一〇〇           |        |        |        | 八〇     |
| 騾          | 二四五    |        |        |        | 二二九    | 一〇〇           |        |        |        | 九四     |
| 驢          | 三四六    |        |        |        | 二二九    | 一〇〇           |        |        |        | 九四     |
| 其他         | 二八七四   | 一八五二   | 一七二二   | 一八三四   | 一八七一   | 一〇〇           | 九一     | 九〇     | 九一     | 一〇〇    |
| 農耕及繁殖用並放牧馬 | 二八七四   | 一八五二   | 一七二二   | 一八三四   | 一八七一   | 一〇〇           | 九一     | 九〇     | 九一     | 一〇〇    |
| 本國內牛       | 二、九三七  | 二、一八四  | 二、一七二  | 二、四五二  | 二、三三二  | 一〇〇           | 一〇二    | 一〇二    | 一〇四    | 一〇四    |

附表第二十六

英國戰時主要農產物耕地面積一覽表

(單位千「エーカー」)

| 耕地種類     | 千九百十三年 | 千九百十四年  | 千九百十五年  | 千九百十六年  | 千九百十七年  | 十三年ニ對スル十七年ノ増(減)百分比 |
|----------|--------|---------|---------|---------|---------|--------------------|
| 小麥       | 一、七九〇  | 一、九〇五   | 二、三三四   | 二、〇五一   | 二、一〇三   | 一七                 |
| 大麥       | 一、九三〇  | 一、八七〇   | 一、五二三   | 一、六五二   | 一、七九六   | (七)                |
| 燕麥       | 三、九六二  | 三、八七八   | 四、一六〇   | 四、一四七   | 四、七六四   | 二〇                 |
| 豌豆       | 二六六    | 三〇一     | 二七四     | 二四二     | 二二八     | (一八)               |
| 碗豆       | 二二八    | 一三二     | 一三〇     | 一一三     | 一〇四     | (一九)               |
| 大豆       | 一、一七三  | 一、一九七   | 一、一〇一   | 一、一四四   | 一、三六五   | 一六                 |
| 「ポテト」    | 一、七五八  | 一、七五〇   | 一、六一八   | 一、六〇九   | 一、六七六   | (四)                |
| 燕麥       | 一、七五八  | 一、七五〇   | 一、六一八   | 一、六〇九   | 一、六七六   | (四)                |
| 「マンゴールド」 | 五〇〇    | 五一六     | 五〇〇     | 四五九     | 四八二     | (四)                |
| 小計       | 一、一五〇七 | 一、一五四九  | 一、一七〇三  | 一、一四一七  | 一、二五〇八  | 九                  |
| 乾草       | 九、八二四  | 九、三九三   | 九、三三一   | 九、五七五   | 九、六〇一   | (三)                |
| 合計       | 二、一三三一 | 二、〇、九四二 | 二、〇、九三四 | 二、〇、九九二 | 二、一、一〇九 | 四                  |

附表第二十七

英國戰時主要農產物「エーカー」年産額一覽表

| 品種       | 單位     | 千九百十三年 | 千九百十四年 | 千九百十五年 | 千九百十六年 | 千九百十七年 | 十三年ニ對スル十七年ノ増(減)百分比 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| 小麥       | 「アッシュ」 | 三二・六七  | 三二・七七  | 三二・七七  | 二九・一三  | 三〇・六   | (三)                |
| 大麥       | 「      | 三四・〇一  | 三四・四八  | 三〇・九六  | 三二・〇二  | 三二・〇   | (六)                |
| 燕麥       | 「      | 四一・七二  | 四二・六三  | 四三・〇三  | 四一・一六  | 四三・七   | (五)                |
| 豌豆       | 「      | 二八・六〇  | 三〇・七二  | 二八・〇〇  | 三〇・三八  | 二七・四   | (四)                |
| 大豆       | 「      | 二六・四一  | 二二・〇二  | 二四・三八  | 二四・四一  | 二二・四   | (一九)               |
| 小計       | 「      | 一六二・四一 | 一六三・六二 | 一五八・二四 | 一五七・二〇 | 一五四・七  | (五)                |
| 「ポテト」    | 噸      | 六四・八   | 六二・五   | 六二・七   | 四七・八   | 六三     | (二八)               |
| 「マングールド」 | 「      | 一四・四〇  | 一三八・三  | 一五・一三  | 一四・四九  | 一四・八   | (三)                |
| 「マングールド」 | 「      | 一八・五四  | 一八・五〇  | 一九・四八  | 一九・六〇  | 二一・五   | (一六)               |
| 乾草       | 「      | 一・五七   | 一・三二   | 一・三五   | 一・五九   | 一・四    | (二二)               |
| 小計       | 「      | 四〇・九九  | 三九・九一  | 四二・二三  | 四〇・四六  | 四四・〇   | (七)                |

附表第二十八

英國主要農產物年額一覽表

| 品種       | 單位       | 千九百十三年  | 千九百十七年  | 十三年ニ對スル十七年ノ増(減)百分比 |
|----------|----------|---------|---------|--------------------|
| 小麥       | 「千「アッシュ」 | 五六・七四三  | 六四・三五二  | (一三)               |
| 大麥       | 「        | 六五・六二〇  | 五七・四七二  | (一一)               |
| 燕麥       | 「        | 一六五・二一六 | 二〇八・一八七 | (二六)               |
| 豌豆       | 「        | 七・六〇八   | 四・六六六   | (三八)               |
| 大豆       | 「        | 三・三八〇   | 二・二二六   | (三九)               |
| 小計       | 「        | 二九八・五六七 | 三三六・九〇三 | (一三)               |
| 「ポテト」    | 千噸       | 七・六二五   | 八・六〇〇   | (一三)               |
| 「マングールド」 | 「        | 九・二五〇   | 一〇・三六三  | (一一)               |
| 「マングールド」 | 「        | 三・七一九一  | 四・三七六八  | (一八)               |
| 乾草       | 「        | 一・五四二四  | 一・三四四一  | (一三)               |

附表第二十九

帝國製鹽業ニ關スル統計表

| 區分                 | 製造人員   | 從業者     | 製鹽反別(町) | 煎煮釜數   | 製造高(斤)        |
|--------------------|--------|---------|---------|--------|---------------|
| 明治三十九年             | 二九、四四二 | 一一三、一三三 | 八、一九三   | 一六、一八五 | 九四一、三一、四八三    |
| 同 四十一年             | 二七、七七三 | 九四、二八六  | 七、六五四   | 一五、二四五 | 一、〇三八、〇四八、六二八 |
| 同 四十三年             | 一七、二一五 | 八一、三二九  | 六、九〇三   | 一〇、〇八三 | 九四六、一九二、〇二五   |
| 大正元年               | 一一、四四一 | 五七、五五一  | 五、九五四   | 七、三三九  | 一、〇三三、四四五、二六四 |
| 同 三年               | 一〇、九三九 | 五四、七二五  | 五、九〇六   | 六、八五八  | 一、〇一八、一七六、八七三 |
| 同 五年               | 一〇、三六六 | 五二、二二二  | 五、八八一   | 六、四〇三  | 一、〇三四、一五八、八五五 |
| 明治三十九年ニ對スル大正五年ノ百分比 | 三五     | 四三      | 七二      | 三九     | 一一〇           |

附表第三十

英國戰時工業被備役女子勞務者出所、職業別一覽表 (千九百十七年一月調)

| 戰時職業別     | 出所     |        | 無職業 | 紡織工業  | 被服品製造及製靴業 | 紡織工業  | 化學工業 | 金屬工業  | 總計 |       |
|-----------|--------|--------|-----|-------|-----------|-------|------|-------|----|-------|
|           | 戰前工場ニ別 | 戰時工場ニ別 |     |       |           |       |      |       |    |       |
| 金屬工業      | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 化學工業      | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 紡織工業      | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 被服品製造及製靴業 | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 木材工業      | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 皮革工業      | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 護謨工業      | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 其他        | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |
| 總計        | 人員     | (百分比)  | 人員  | (百分比) | 人員        | (百分比) | 人員   | (百分比) | 人員 | (百分比) |

備考  
一 本表ハ民營工場ノ報告ニ係ル一部ノ統計トス  
二 本表百分比ハ統計ニ對スルモノトス

附表第三十一

自千九百十六年一月中旬至同 年九月中旬 金屬及化學工業新就業被備役女子出所別百分比一覽表

| 出所(舊職業)別  | 化學工業 | 金屬工業  | 出所(舊職業)別 | 化學工業  | 金屬工業 |       |
|-----------|------|-------|----------|-------|------|-------|
|           |      |       |          |       |      | 化學工業  |
| 金屬工業      | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 化學工業      | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 紡織工業      | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 被服品製造及製靴業 | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 食糧飲料及煙草業  | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 製紙及印刷業    | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 皮革製造業     | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 窯業        | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 護謨業       | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |
| 總計        | 人員   | (百分比) | 人員       | (百分比) | 人員   | (百分比) |

備考  
一 本表ハ六大勞働仲介所(英蘭ニ在ルモノ五、蘇格蘭ニ在ルモノ一)ニ於テ自千九百十六年一月中旬至同 年九月中旬 八箇月間ニ仲介セシ新就業(轉業ヲ含ム)被備役女子ニシテ化學工場ニ振向ケシ者一萬一千四百十五人、金屬工業ニ振向ケシ者四千六百六十七人ニ就キ出所別ニ從フ百分比ヲ求メタルモノトス  
二 (內)亞拉比亞數字ハ本表十七種ノ出所別中前項百分比ノ大小ニ依ル列次ヲ示スモノトス  
三 本表化學工業中ニハ火藥製造工場ヲ含ム

在「グラスゴ」三砲彈工場機械作業女工中ノ三百七十人ニ對スル出所別一覽表

| 出所(舊職業)別    | 人員數 |     | 區分   | 總數三百七十人ニ對スル同上計百分比 |
|-------------|-----|-----|------|-------------------|
|             | 未婚者 | 既婚者 |      |                   |
| 無職業者        | 三九  | 四一  | 八〇   | 二二・六              |
| 家婢          | 五二  | 七   | 五九   | 一五・九              |
| 紡織、被服製造及製靴業 | 五〇  | 三   | 五三   | 一四・三              |
| 商店員及給仕      | 四一  | 六   | 四七   | 一三・七              |
| 金屬工業        | 二六  | 四   | 三〇   | 八・二               |
| 工場手傳及機械業    | 一三  | 四   | 一七   | 四・五               |
| 軍需品工業(政府工場) | 一   | 四   | 一五   | 四・二               |
| 洗濯業         | 九   | 〇   | 九    | 二・四               |
| 農業及魚類貯藏業    | 八   | 〇   | 八    | 二・二               |
| 「チヨコレート」製造業 | 五   | 二   | 七    | 一・八               |
| 製紙及印刷業      | 四   | 三   | 七    | 一・八               |
| 書記及智識的職業    | 六   | 〇   | 六    | 一・六               |
| 包裝及校正係      | 六   | 〇   | 六    | 一・六               |
| 街鐵從業員       | 二   | 一   | 三    | 〇・八               |
| 造船業         | 三   | 〇   | 三    | 〇・八               |
| 油檢査人        | 三   | 〇   | 三    | 〇・八               |
| 壕詰人及壕仲買工場   | 三   | 〇   | 三    | 〇・八               |
| 其他ノ職業       | 一三  | 一   | 一四   | 三・七               |
| 總計          | 二九四 | 七六  | 三七〇  | 一〇〇・〇             |
| 同右百分比       | 七九四 | 二〇六 | 一〇〇〇 |                   |

備考  
 本表ハ在「グラスゴ」三會社ニ屬スル三箇ノ砲彈工場ニ於テ機械作業女工中ヨリ任意ニ三百七十人ヲ選別シ統計セルモノトス  
 但シ右三會社中ノ一ハ從來金屬工業ニ從事セルモノトス

附表第三十三

這次時局後帝國工場募入職工出所職業別一覽表

大正六年十月調

| 募入工場別  | 出所別     |       | 農業     | 鑛業    | 商業      | 漁業     | 工業種     | 工業種      | 其ノ他     | 計       |
|--------|---------|-------|--------|-------|---------|--------|---------|----------|---------|---------|
|        | 農業      | 工業種   |        |       |         |        |         |          |         |         |
| 染織工場   | 六〇、一六五  | 二二六   | 三、六八二  | 一、二九〇 | 三、四、四一〇 | 二、一七三  | 一、三、九九六 | 一、一五、九四二 | 五二、〇二七  | 一一五、九四二 |
| 機械器具工場 | 九、六二一   | 四四三   | 二、九四四  | 九九七   | 二、四、三四七 | 三、五三六  | 一〇、一三九  | 三、四、二九五  | 五二、〇二七  | 一一五、九四二 |
| 化學工場   | 一四、二五五  | 一三四   | 二、四九四  | 四六六   | 七、四九三   | 二、一三二  | 七、三三三   | 一〇、七五三   | 三、四、二八二 | 一一五、九四二 |
| 飲食物工場  | 五、四四六   | 二七    | 五一四    | 三〇二   | 一、五二三   | 二、三三二  | 二、七一九   | 一〇、七五三   | 三、四、二八二 | 一一五、九四二 |
| 雜工場    | 一一、三三一  | 九〇    | 二、三四八  | 五二三   | 一、七五五   | 一、六〇五  | 六、七三〇   | 六、二九九    | 六、二九九   | 一一五、九四二 |
| 特別工場   | 二、七二二   | 四七一   | 五四七    | 二四三   | 八〇三     | 三五二    | 一、一七二   | 六、二九九    | 六、二九九   | 一一五、九四二 |
| 總計     | 二〇三、四三〇 | 一、三九一 | 一一、九二九 | 三、八二二 | 八〇、三三二  | 一〇〇、二八 | 四二、〇七八  | 二五三、五九八  | 一〇〇     | 一一五、九四二 |
| 人員     | 四〇八     | 〇五    | 四九     | 一五    | 三一七     | 四〇     | 一六六     | 一〇〇      | 一〇〇     | 一一五、九四二 |
| 百分比    | 四〇八     | 〇五    | 四九     | 一五    | 三一七     | 四〇     | 一六六     | 一〇〇      | 一〇〇     | 一一五、九四二 |

備考  
 一 本表ハ農商務省ノ統計ニ依ル  
 二 機械器具工場募入職工出所別百分比中同種工業ヨリ來リシ者ハ四割六分強ニシテ他種工場ヨリ轉シタル者ヲ加フルトキハ既設工場ヨリ來リシ者約五割強トナル

附表第三十四

英國戰時石炭消費額一覽表

(單位千噸)

| 年次     | 探炭量     | 輸出量    | 消費量     |     | 消費量     |         | 消費量 |          |     |
|--------|---------|--------|---------|-----|---------|---------|-----|----------|-----|
|        |         |        | 數量      | 百分比 | 外國貿易船消費 | 數量      | 百分比 | 上記以外國內消費 | 數量  |
| 千九百十三年 | 二八七、四三〇 | 七六、六八八 | 二二〇、七四三 | 一〇〇 | 二、〇三二   | 一八九、七一〇 | 一〇〇 | 一八九、七一〇  | 一〇〇 |
| 千九百十四年 | 二六五、六六四 | 六一、八三〇 | 二〇三、八三四 | 九七  | 一、八五三六  | 一八五、二九八 | 九八  | 一八五、二九八  | 九八  |
| 千九百十五年 | 二五三、二〇六 | 四五、七七〇 | 二〇七、四三六 | 九九  | 一、三六三一  | 一九三、八〇五 | 一〇二 | 一九三、八〇五  | 一〇二 |
| 千九百十六年 | 二五六、三四八 | 四一、一五七 | 二一五、一九一 | 一〇二 | 二、二九八八  | 二〇二、二〇三 | 一〇五 | 二〇二、二〇三  | 一〇五 |
| 千九百十七年 | 二四八、四七三 | 三七、一五七 | 二二〇、六七三 | 一〇〇 | 一、〇二二八  | 二〇〇、四四五 | 一〇三 | 二〇〇、四四五  | 一〇三 |
| 千九百十八年 | 二二六、七〇〇 | 三七、一七〇 | 一八九、五三〇 | 九〇  | 一、〇二二八  | 一九〇、四四五 | 一〇三 | 一九〇、四四五  | 一〇三 |

附表第三十五

英國戰時銑及鋼平均一週間產額

| 年次     | 週產額 (噸) |         | 開戰前ニ對スル同上百分比 |
|--------|---------|---------|--------------|
|        | 銑       | 鋼       |              |
| 千九百十三年 | 二〇〇、〇〇〇 | 一四七、〇〇〇 | 一〇〇          |
| 千九百十四年 | 一七三、〇〇〇 | 一五一、〇〇〇 | 八七           |
| 千九百十五年 | 一六九、〇〇〇 | 一六一、〇〇〇 | 八五           |
| 千九百十六年 | 一七四、〇〇〇 | 一七三、〇〇〇 | 八七           |
| 千九百十七年 | 一七九、〇〇〇 | 一八七、〇〇〇 | 九〇           |
| 千九百十八年 | 一七五、〇〇〇 | 一八四、〇〇〇 | 八八           |

備考  
 本表ハ英國軍需省發表ニ係ルモノトス

附表第三十六

英國戰時國內銑消費額一覽表 (單位千噸)

| 年次     | 製銑額     | 輸出額   | 國內消費  |     | 摘要  |
|--------|---------|-------|-------|-----|-----|
|        |         |       | 額     | 百分比 |     |
| 千九百十三年 | 1,026.0 | 1,128 | 9,133 | 100 | 338 |
| 千九百十四年 | 892.4   | 782   | 8,142 | 89  | 291 |
| 千九百十五年 | 872.4   | 623   | 8,111 | 88  | 289 |
| 千九百十六年 | 891.9   | 918   | 8,001 | 87  | 294 |
| 千九百十七年 | 933.8   | 734   | 8,604 | 95  | 318 |

| 年次     | 消費額   |     | 同上百分比 |
|--------|-------|-----|-------|
|        | 額     | 摘要  |       |
| 千九百十三年 | 4,950 | 100 |       |
| 千九百十四年 | 5,769 | 117 |       |
| 千九百十五年 | 6,533 | 133 |       |
| 千九百十六年 | 6,473 | 130 |       |

英國戰時國內鋼材消費額ハ次表ノ如シ

附表第三十七

英國戰時紡織工業主要原料消費額一覽表

| 年次               | 消費額 (單位百萬ポンド) |       |     | 開戰前ニ對スル百分比 |
|------------------|---------------|-------|-----|------------|
|                  | 棉花            | 羊毛    | 麻   |            |
| 自千九百十一年至千九百十三年平均 | 2,074         | 791   | 237 | 100        |
| 千九百十四年           | 1,664         | 671   | 228 | 80         |
| 千九百十五年           | 1,968         | 1,001 | 228 | 139        |
| 千九百十六年           | 1,927         | 776   | 229 | 93         |
| 千九百十七年           | 1,600         | 789   | 228 | 77         |
| 千九百十八年           | 1,430         | 571   | 92  | 69         |

附表第三十八

英國戰時商船總噸數變化推定表

| 年次           | 商船總噸數  |                      | 摘要 |
|--------------|--------|----------------------|----|
|              | 帆船     | 汽船                   |    |
| 千九百十四年七月末現在  | 20,100 | 百噸以上ノモノ              |    |
| 戰爭中敵ノ攻撃ニ依ル損害 | 6,754  |                      |    |
| 戰爭中海難損害      | 2,010  | 一箇年平均〇割二五トス          |    |
| 戰爭中建造其ノ他     | 5,004  | 備考三參照                |    |
| 差引 休戰前現在     | 16,840 | 千九百十八年十二月現在ハ千七百十萬噸トス |    |

| 年次      | 帆船  |        | 汽船     |    | 摘要 |
|---------|-----|--------|--------|----|----|
|         | 噸數  | 噸數     | 噸數     | 噸數 |    |
| 千九百十三年末 | 846 | 11,773 | 11,210 |    |    |
| 千九百十四年末 | 794 | 11,622 | 11,415 |    |    |
| 千九百十五年末 | 777 | 11,650 | 11,427 |    |    |
| 千九百十六年末 | 715 | 11,037 | 11,752 |    |    |

一 商船中ニハ商船ニシテ官憲徵用ノモノヲ含ム  
二 帆船及汽船ノ開戰後千九百十六年ニ至ル總實用噸數ヲ舉クレハ次ノ如シ  
三 戰爭中ニ於ケル英國商船建造總噸數概テ次ノ如シ (單位千噸)

附表第三十九

英國戰時港灣輸出入貨物船實用噸數變遷一覽表

(單位百萬噸)

| 年次     | 入港  |     | 出港  |     | 出入計 |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 英國船 | 外國船 | 英國船 | 外國船 | 英國船 | 外國船 |
|        | 計   | 計   | 計   | 計   | 計   | 計   |
| 千九百十三年 | 三三  | 一七  | 四〇  | 二八  | 六八  | 一七  |
| 千九百十四年 | 二九  | 一四  | 三三  | 二三  | 五六  | 九   |
| 千九百十五年 | 二三  | 一一  | 二二  | 一九  | 四〇  | 七三  |
| 千九百十六年 | 二〇  | 一〇  | 三〇  | 一八  | 三六  | 六六  |
| 千九百十七年 | 一九  | 四   | 二三  | 一七  | 二六  | 四九  |
| 千九百十八年 | 二〇  | 三   | 二三  | 一五  | 二二  | 四五  |

一 本表數値ハ政家年鑑ニ依リ百萬噸以下ハ四捨五入ニ依リ記上セリ  
 二 本表ニ依リ戰時港灣ノ一般狀況ヲ推定スルヲ得ヘシ

附表第四十

英國鐵道戰時收入狀態一覽表

(單位百萬「ポンド」)

| 年次     | 總收入 |
|--------|-----|
| 千九百十三年 | 一三九 |
| 千九百十四年 | 一三九 |
| 千九百十五年 | 一四五 |
| 千九百十六年 | 二五四 |
| 千九百十七年 | 一六九 |

本表數値ニ依リ鐵道戰時運行ノ一般ヲ推測スルヲ得ヘシ

附表第四十一

英國郵便電信取扱通數開戰影響一覽表

(單位百萬)

| 年次      | 信書      |         | 第三種新聞   |         | 小包電報    |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|         | 自千九百十三年 | 自千九百十四年 | 自千九百十三年 | 自千九百十四年 | 自千九百十三年 | 自千九百十四年 |
| 至千九百十四年 | 三四七八    | 三四〇九    | 九二七     | 八八〇     | 一〇一六    | 二二五     |
| 至千九百十五年 | 三、四七八   | 三、四〇九   | 一、一七二   | 一、〇一六   | 二〇七     | 一四七     |
| 至千九百十六年 | 三、四七八   | 三、四〇九   | 二〇七     | 二二五     | 一三七     | 一四五     |
| 至千九百十七年 | 三、四七八   | 三、四〇九   | 八七      | 九一      | 一三七     | 一四五     |

本表數値ニ依リ開戰影響ノ一端ヲ窺知スルヲ得ヘシ